

# 東京放射線

2011年6月  
Vol.58 No.685



社団法人 東京都放射線技師会  
<http://www.tart.jp/>

新連載  
放射線治療

第60回（社）東京都放射線技師会総会（抄）

お知らせ  
地区の力

第10回サマーセミナー  
7・8月合併号のお知らせ

会告  
第43回きめこまかな生涯教育

卷頭言 プロフェッショナルボランティア 小田正記  
第3回日暮里塾ワンコインセミナー



# 平成23年度 スローガン

## 三、二、一、 生涯教育・専門教育の推進

### 生涯教育・専門教育の推進 地球環境と調和した画像診断技術の向上 チーム医療の推進

2011年  
JUNE

#### CONTENTS

##### 目次

卷頭言 プロフェッショナルボランティア	副会長 小田正記	4
診療放射線技師のための接遇規範		5
会告1 第43回きめこまかな生涯教育	学術教育部	6
会告2 第3回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育部	7
会告3 第10回サマーセミナー	学術教育部	8
会告4 第11回東京都放射線技師会・東京部会合同学術講演会	学術教育部	9
地区の力オ		10
第60回 (社) 東京都放射線技師会総会 (抄)		15
東京放射線7・8月合併号のお知らせ		21
新連載 誌上講座 放射線治療	岩井譜憲	22
震災と原子力災害について	金場敏憲	24
ボランティア・サーベイを経験して	岡部博之	32
東京ピックサイト・サーベイボランティア印象記	清水賢均	33
NEWSひろい読み		34
お知らせ		
・日暮里駅前清掃ボランティア参加者募集		36
・城南支部研修会		
バイブルайн		
・第23回腹部超音波初心者講習会	超音波画像研究会	37
・第28回中央医療同窓会総会・中央放射線学会	中央医療技術専門学校	38
・第27回診療放射線技師総合学術大会		39
・平成23年度関東甲信越放射線技師学術大会		40
第1回理事会報告		41
平成23年4月期会員動向		42
登録事項変更届		44

# 卷頭言



## プロフェッショナルボランティア

副会長 小田正記

東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射能の影響により、福島県を中心とする被災者の方々の一時避難所として、東京都では東京武道館、東京ビッグサイト、味の素スタジアム（調布庁舎）などが提供された。

本会は、東京都福祉保健局医療政策部の依頼を受け、避難者受入施設における放射性物質による外部汚染調査（以下、「放射線サーベイ」という）を広く会員に呼び掛けて行ってきた。本会が放射線サーベイを行った避難者受入施設は、3月24日～4月24日は東京ビッグサイトで、4月24日～5月17日は味の素スタジアムであり、被測定者はそれぞれ116名と9名であった。今回の放射線サーベイのボランティアに参加して頂いた診療放射線技師は、会員・非会員を問わずのべ200人を超える。ほぼ毎日このボランティア活動が行われており、ここにあらためてこのたびの放射線サーベイボランティアに参加して頂いた方々に、衷心より御礼を申し上げる次第である。

さて、ボランティア（Volunteer）であるが、その語源は志願兵という原義があり、歴史的には騎士団や十字軍などにまで遡り、英語圏では現在も本来の語義どおり使われているそうである。また、ボランティア活動は原則として、自発性・無償性・利他性・先駆性の4つの要素が挙げられる一方、それに参加する個人の自己実現の場として機能する自己実現性を持つといわれている。

その中で、医師、教師、弁護士、会計士などの専門職の人々が、無報酬で行うボランティア活動のことをプロフェッショナルボランティア（プロボラ）といわれる。少ない人材や経営資源の中で活動するNPOなどの活動には、ボランティア活躍が欠かせないが、その中でも特に専門的な知識やノウハウ、また人脈が求められ必要とされるときに、このプロフェッショナルボランティアの出番となる。アメリカではプロボノ（Pro bono publico の略、ラテン語で「公共益のために」という）といい、もともと弁護士などの法律に携わる専門家が、無料弁護士相談、無料法律相談を行ったものが各分野に広まったものだそうである。

このたびの我々診療放射線技師のボランティア活動は、災害時の緊急出動であったとはいえ、まさにこのプロフェッショナルボランティアであると思う。放射線を使うとともに、放射線・放射能を測り、放射線に対する知識と技術で正確な情報を提供するのである。

中国の格言に「十年樹木、百年樹人」とある。この意味は、「十年先を思うならば木を育てよ。百年先を思うならば人を育てよ。」ということである。いま公益社団法人を目指す本会としても今回の経験を生かし、さらなる災害時支援ボランティア体制の強化はもちろんのこと、現在行っている放射線被ばく相談や公開講座などの事業をプロフェッショナルボランティアとしてさらに充実させていかなければならない。また、それらに携わる人を育てていかなければならないと痛感している。

# 診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、性・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

社団法人 東京都放射線技師会

# 会 告

## 1

# 第43回きめこまかな生涯教育

## テーマ「上部消化管X線造影検査」

講師 高嶋 優子氏 東京都がん検診センター

消化管X線造影検査は、検査中に異常所見を素早く判断できる高度な知識と関心部位の適切な表現を可能とする造影技術が必要であります。さらに、撮影後の読影能力、レポート作成能力もわれわれ診療放射線技師に求められています。

今回の「きめこまかな生涯教育」では、上部消化管X線造影検査を取り上げ、放射線技師に必要な撮影技術、読影能力およびレポート作成手法の理解を目的に企画しました。

### プログラム

#### 1日目：上部消化管撮影の撮影技術 基本

基準撮影法1を基本に話すが、ドックなどの基準撮影法2も加える。

基本的な撮影方法の解説。撮影のポイント。接遇など。

#### 2日目：上部消化管撮影の撮影技術 応用（胃型別追加撮影）

撮影応用編。胃の形による撮影法（牛角胃、瀑状胃など）。病変を見つけた時の追加撮影。

動画を使って解説。

#### 3日目：読影用語の解説とレポートの作成方法

隆起や陥凹はどうやって見えるのか？などを解説。読影の手順。レポートの書き方。当センターのドックの読影レポートを例にして、実際のがん症例の読影レポートを書いて実習し、病理結果も供覧する。

### 記

日 時：平成23年6月8日（水）～10日（金） 午後7時00分～8時30分

会 場：（社）東京都放射線技師会研修センター

アクセス：JR日暮里駅北口下車徒歩3分

定 員：30名程度（先着順）

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ <http://www.tart.jp/> の研修会申込または会誌巻末の研修会等申込み用紙を使用してFAXにてお申し込みください。

問い合わせ：東放技事務所 TEL・FAX 03-3806-7724

gakujitu@tart.jp 学術教育理事 市川重司

## 第3回 日暮里塾ワンコインセミナーのお知らせ

第3回日暮里塾ワンコインセミナーは、災害医療などで実力の発揮が期待されている画像診断システムをご紹介いたします。

被災地域での画像診断の必要性や重要性が高まっており、緊急医療をサポートする画像診断システムについての見聞を広めたいと思います。

各施設においても災害時や緊急時を想定して常備の検討がされており、在宅医療にも大変有用性が高いと思われます。

当日は実機でのデモも予定しておりますので、皆さまの参加をお待ちしております。



### 記

日 時：平成23年7月12日（火）19時00分～

場 所：東京都放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

アクセス：JR日暮里駅北口下車徒歩3分

テー マ：「災害時におけるFPDの有用性について」

講 師：キヤノンマーケティングジャパン(株) 伊藤 琢也 氏

参 加 費：会員500円 非会員3,000円 卒新入会員・学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の研修会申し込み、または会誌5月号の研修会申込用紙にて事務所にFAXで申し込んで下さい。（※ 当日参加も可能です）

問 合 せ：東京都放射線技師会学術教育理事 市川重司 メール [gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)  
東京都放射線技師会事務所 TEL 03-3806-7724

### ★ 今後の日暮里塾ワンコインセミナーの予定

第4回	H23年9月27日	グリッドの話
第5回	H23年11月22日	モニター管理の実際
第6回	H23年12月20日	未定
第7回	H24年1月24日	鉛プロテクターを知ろう

## 第10回サマーセミナー テーマ「ワイヤレスFPDカセット」

～一般撮影用ワイヤレスFPDカセットの現状～

FPDが一般撮影領域に登場以来、多くの施設で使用されているが、立位または臥位専用装置であったり、有線タイプのカセットであったりと、従来のフィルムカセットやCRカセットと比べると自由度が制限され取扱等について多少の不自由さがありました。

今回、ワイヤレスタイプのFPDカセットについて理解を深めたいと考えています。当日は実際のカセットなども展示する予定です。多くの方の参加をお待ちしています。

### —プログラム—

15時00分	1部	技術解説
		コニカヘルスケア（株）
		富士フィルムメディカル（株）
		キヤノンジャパン（株）
		ケアストリームヘルス（株）
16時00分	2部	使用経験
		使用施設から使用経験報告

### 記

日 時：平成23年8月27日（土） 15時00分～18時00分

会 場：東京医科大学病院 教育棟5階臨床講堂 新宿区西新宿6-7-1

アクセス：JR新宿駅西口下車徒歩 15分

都営大江戸線 都庁駅前下車徒歩 7分

東京メトロ丸の内線 西新宿駅下車徒歩 1分

参 加 費：会員1,000円、非会員5,000円、卒新入会員・学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌5月号の研修会申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んで下さい。

問合せ先：（社）東京都放射線技師会事務所

TEL・FAX 03-3806-7724 学術教育メール [gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

# 会告 4

## 第11回 社団法人東京都放射線技師会 公益社団法人日本放射線技術学会東京部会 合同学術講演会 テーマ「放射線災害と放射線技師の役割」

講 師 日本放射線公衆安全学会 会長 諸澄 邦彦 氏

### 【講演要旨】

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、東京電力福島第一原子力発電所で稼働中の原子炉が津波の影響を受けて冷却機能を喪失するという事態に見舞われた。

国民の健康確保のため、政府は原子力緊急事態を宣言し、周辺自治体に避難指示を出した。

社団法人日本放射線技師会では、翌12日に中澤会長を本部長とする災害対策本部を設置し、マスメディアへの対応と放射線測定の要請を考慮した準備を始めた。原子炉建屋の水素爆発に伴う環境への放射性物質の放出が確認されたため、原子力安全委員会ならびに福島県から日本放射線技師会に対し避難地域における放射線の測定の要請があった。

これを受け、日本放射線技師会では16日より放射線サーバイマーを派遣する一方、マスメディアからの出演要請を受けて積極的な協力を行った。

このような放射線技師の積極的な初期活動は、関係省庁など行政機関だけでなく広く一般国民の方々から高い評価を得ており、放射線専門家として果たした役割は大きい。

今回の福島原発事故に対して診療放射線技師が行った活動内容を通じて、多くの診療放射線技師が共有すべき情報と経験と若干の改善点（反省点）を述べたい。

### 記

日 時：平成23年9月8日（木） 19時00分～

会 場：東京都放射線技師会研修センター

参 加 費：会員1,000円、非会員2,000円、卒新入会員・学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌5月号の研修会申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んで下さい。

なお、申し込み後1週間経過しても連絡がない場合はお問い合わせください。

問合せ先：（社）東京都放射線技師会事務所

TEL・FAX 03-3806-7724 学術教育メール [gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

案内図 JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分



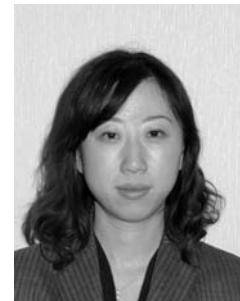
平成23・24年度

# 地区の力

## 第1地区理事 真田鮎子 三井記念病院

第1地区を担当させていただいております、真田です。今期で2期目になります。昨年の第1地区の研修会では、ハイチ地震における診療放射線技師の活動というテーマでお話をさせていただきました。今回の東日本大震災でも、私達の仲間である各都道府県の診療放射線技師の方々が、活躍されております。このように現在では病院だけでなく、災害時における技師の働きが問われる時代になってきました。しかしながら、個人で動くには限度があり、また、受け入れ先にも拒否されかねません。そのような場合にこそ、職能団体である、技師会が大いに役立ちます。団体ならば受け入れていただけますし、何より、一人ではできない事もみんなで集まれば大きな力になります。

また、最近、技師会の入会率が減少傾向にあります。そこで、前期に入会促進検討委員会というものを立ち上げました。少しずつですが、色々な病院を訪問させていただき、技師会への理解を深めていただこうと努力しているところです。特に今回の被災地での技師会の仕事ぶりをみていただき、色々な方が技師会に興味をもつていただけたら幸いです。どうぞ、今期もよろしくお願ひ申し上げます。



## 第2地区委員長 山田和孝 台東区立台東病院

平成23年4月より、第2地区委員長に任命されました、台東区立台東病院の山田です。東日本大震災という時期にこの任を与えられ、放射線を扱う者としての責任を感じております。普段から放射線に対して国民の皆さまは、不安を感じている中、さらに原発による放射性物質の漏洩という大惨事が起き、これから先医療被ばく等に対する厳しい目が向けられることが予想されます。私達、診療放射線技師はより一層の努力を重ね、国民の皆さまに理解され必要とされる職業にならなくてはなりません。

また、今回の震災により各国から義援金を始めとする温かい支援の手が差し延べられていることに、驚きと喜びを感じました。こういうときだからこそ、人の有難さや優しさを自分自身、実感できたのだと思います。「人のために生きる」というと偽善に聞こえるかもしれません、人のために何かをすれば自分自身に返ってくると思います。個々の人の力など自然の前では無力で、互いに支え合って初めて人は生きられるのではないかと思います。これからも、微力ですが皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思います。



## 第3地区理事 石上信雄 東京医科大学病院

平成23・24年度の第3地区理事に5期目の就任となりました石上です。技師会が公益社団法人としてのスタートを迎えるに当たり、役員としてご奉仕出来る事にとても嬉しく思っております。

日放技と共に、技師のレベルUPに努め、診療放射線技師職を全国民にアピール出来ればと思っております。また、患者様が医療機関に赴く為の自己決定に、少しでもお役に立つ情報を提供出来ればと考えております。

技師の皆さま、技師会へ入会してお互いに情報交換を行いながらスキルUPを計っ



て行きましょう。

最後に、この度の東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げると共に、今尚、被災地で生活をされている方々の、一日も早い復興へ向けて、ご支援ご協力を日本人一個人として、また、医療従事者である技師として活動させて頂きます。頑張ろう、日本！

#### 第4地区理事 高橋潤一郎 公務員共済組合連合会 虎の門病院

この度の東日本大震災にて被災されました地域の皆様、ご家族、ご親族の皆さま方に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地等の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

第4地区理事に就任いたしました、虎の門病院 高橋潤一郎です。

これまで第4地区委員として活動してまいりましたが、これからは地区をまとめる立場と言う事で、大変に身が引き締まる思いです。

第4地区は、ご存知の通り渋谷区・港区の約200人の会員から構成され、城南支部に属している地区です。

理事になるにあたり、諸先輩より受け継いだ事業や行事などを時代のニーズに合わせ変化させながら、この第4地区を始めとする会員の方々に対し有益な情報を今まで以上発信するとともに、他の地区や支部レベルでの連携を深めて、これから新しい東京都放射線技師会を楽しく盛り上げて行きたいと思っています。

どうぞよろしくお願い致します。



#### 第5地区理事 小野口敦 本駒込クリニック

前期の地区委員長に引き続き、平成23年、24年度の5地区理事を務めることになりました小野口です。

第5地区（北区、文京区）は大学病院に所属する会員が多いアカデミックな地区です。その中においても引き続き、個人病院等に勤務する会員の皆様にも積極的に情報を発信していきたいと思います。①歴代の理事から引き継がれているSGD（Small Group Discussion）の開催を通して学術的な情報提供を行います②地球環境活動（日暮里駅前清掃活動、荒川河川敷清掃活動）も引き続き行います。

会員の皆さまのご意見を伺いながら地区・技師会活動の活性化を図ってまいりたいと思います。

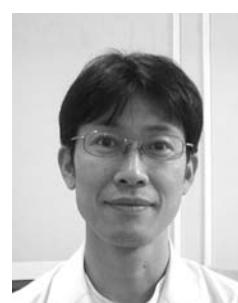
どうぞよろしくお願いいたします。



#### 第6地区委員長 岡部博之 新葛飾病院

この度、第6地区（足立区・荒川区・葛飾区）の地区委員長に就任致しました。期待と不安に胸を膨らませております。

出身は静岡県の掛川市です。掛川市内から海へ20kmほど行ったところに実家があります。また、御前崎も近くサーフィンのメッカにもなっており、白波が踊る壮大な太平洋の景観は一見の価値があります。勤務先は葛飾区にあります新葛飾病院です。院長の方針である“ウソをつかない医療”をモットーに医療安全に力を入れている施設です。



地区活動方針として、地区の活性化および技師会の発展への貢献を目指します。

地区会員の皆様、第6地区の地区委員はとても前向きな意見を持った方たちです。今後、地区委員と共に地区会員の皆様とふれあい、話し合いが出来る企画等検討を行っていきたいと考えておりますので、その時はご参集のほど宜しくお願いします。

皆様の意見を技師会活動に生かしていきたいと考えておりますので、ご意見やご

希望などがございましたらhousyasen.skcl@ims.gr.jpまで、ご連絡頂きたいと思います。ご支援の程、宜しくお願ひします。

### 第7地区委員長 田川雅人 森山病院

今期も7地区にて委員長を引き受けました。皆さんも御承知のとおり、中澤東放技会長が日放技の会長となりました。放射線技師の立場を向上して行ける事と思います。

この前途多難な船出に、東日本大震災、原発事故が発生しました。震災では、数万人の方々が犠牲になりました。心からご冥福をお祈り申し上げます。原発事故では、23年4月現在収束不明であり市民の不安が各方面でデマや噂となり問題となっています。

東放技においては、少しでも不安解消に貢献出来ればとサーベイボランティアに参加し公的に強く認識されたものと思います。実際、放射能の説明をする機会が多くなり、放射線技師としての知識が問われていると感じました。まだまだ、頑張って学んでゆこうと思います（自分へ）。皆さまの、ご指導ご鞭撻をお願いいたします。



### 第8地区委員長 中西雄一 NTT東日本関東病院

この度、第8地区委員長に就任いたしましたNTT東日本関東病院の中西雄一と申します。

第8地区は品川・大田区のエリアを管轄して、いままでも前任の出島地区委員長のところで勉強会や懇親会を活発に行ってきました。これからも都放技の第8地区としてどのような活動や運営をしていくか他施設の会員の方々と相談し、協力を得ながら地区活動を進めていきたいと思っています。また地区ホームページにて第8地区や都放技の情報を迅速に会員の皆さまにお届けしようと思っています。



力不足な点は多々あると思いますがよろしくお願ひいたします。

### 第9地区理事 飯島利幸 日本大学医学部附属板橋病院

この度、第9地区理事として2期目を務めることになりました日本大学医学部附属板橋病院の飯島と申します。よろしくお願ひいたします。

前期（平成21・22年度）1期目では、会務を精一杯こなすことで2年間が過ぎてしまった様に思われます。2期目に入り地区理事として、前期の地区活動の反省を活かし、地区会員のコミュニケーションを図れるような勉強会・懇親会の企画を引き続き行い、その交流を通して地区会員皆さま方の要望などを伺いながら地区の声として、地区委員ともども充実した第9地区になるよう努力していきたいと思っております。また、地区会員の皆さまにメリットのある地区活動を行なえるよう務めたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



### 第10地区理事 大地直之 河北総合病院

今回で3期になりました。平成23年度、24年度の第10地区理事を務めることになりました。河北総合病院の大地です。

会員の要望、意見を吸い上げて集約し東放技に反映させることや、会員の皆様に技師会活動に協力して頂くことは大変難しいと日々実感していますが、有能な地区委員の方々の力を借りて目標を達成したいと考えています。

会員の皆様が日本放射線技師会、東京都放射線技師会の活動に興味を持ち一人でも多くの方が積極的に参加して下さるよう総会、研修会、勉強会、懇親会、地区活動等を通じて地道に啓蒙活動を行いたいと思いますので、今後もご意見、ご指導をよろしくお願ひ致します。



## 第11地区理事 千葉利昭 東邦大学医療センター大橋病院

11地区の代表として2期目を勤めさせて頂く東邦大学医療センター大橋病院の千葉です、今季もよろしくお願ひします。

前期は会務をこなす事だけで精一杯の状態が続き、11地区の皆さんに満足して頂けるような活動が出来たか疑問ではあります、地区で受け継いできた定期行事や支部研修会を無事に開催できたことは大変嬉しく思っています。

今季も地区委員と一致協力し、様々な地区活動を通して会員の交流が活発になるよう努めると共に、要望や意見を東放技へ反映できるように努力したいと思いますので、今後とも東京都放射線技師会並びに第11地区の活動にご理解ご協力をよろしくお願ひします。



## 第12地区理事 篠田 浩 公立昭和病院

12地区をお預かりして3期目になります公立昭和病院の篠田です。

過去2期を振り返りますと多くの大きな行事や変化が沢山あり充実した4年間でした。3期目は静かに平穀無事に過ごして次の新理事へバトンタッチしようと思いながら先日の3月の定期総会・役員選挙の日を迎えました。しかし、その1週間後にあの大震災と福島第一原発の被災…。福島へ派遣する緊急サーベイ隊用のGM計数管の確保、そして避難住民を受け入れた東京ビックサイトでのサーベイ経験など想定外の出来事のオンパレードです。福島に第1次サーベイ隊として参加した市川理事の経験談をただの報告会ではなく今後に生かすためにと、無理を承知で緊急チャリティー講演会を広報期間2週間で開催しました。幸い多くの皆さんご協力で120名と沢山の方に集まって頂けました。

3期目はとても平穀無事とは程遠い船出となりましたが、地区の皆さんに支えられながら技師会に入っていて良かったと思って貰える様に頑張ります。よろしくお願ひ致します。



## 第13地区委員長 川崎政士 大聖病院

今期で三期目になります、大聖病院 川崎です。

今まで二期四年間を振り返って、技師会で一番広域の地区を任せていますが、なかなか思うように行動が出来ずにいるのが現状です。また、地区のためにやってきた活動が、これで良かったのかと色々悩みましたが、まだまだ改善することが多々あると思っております。地区の活性化を今まで以上に積極的に行っていきたいと考えています。

現在技師会では会員数の減少などの様々な問題を抱えております。また、公益法人に向けての活動、今までの事業に加えて新しい事業の取り組み、新入会員の勧誘など、様々な場面で、篠原新会長をはじめ新執行部に協力をていきたいと思っております。



## 第14地区委員長 高林正人 国保松戸市立病院

初めに、この度の東日本大震災で被災された方々のご冥福と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今期14地区委員長に就任いたしました、松戸市立病院の高林正人と申します。

昨年は東京都放射線技師会においては、創立60周年、法人化30周年、また中澤会長の日放技会長就任と節目の年でした。また、私事ですが結婚して家庭を持ち、心機一転の年となりました。

この意義深い時に再び14地区の地区委員長に推薦をしていただき、身の引き締



まる思いです。

私が好きな本田宗一郎の言葉に「失敗が人間を成長させると私は考えている。失敗のない人なんて本当に気の毒に思う」があります。失敗を恐れずに、今までの経験を生かし、心地よい緊張感のもと、決意を新たに頑張ってまいります。

最後にまだまだ若輩者ではありますが、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

## 第15地区委員長 原子 満 帝京大学医学部附属溝口病院

今期より2期目となります、引き続き第15地区委員長を務めさせて頂くことになりました原子満です。

前期は、10数年ぶりに北・南合同開催となった関東甲信越学術大会や新事務所移転事業、そして創立60周年・法人化30周年記念式典とめまぐるしいあつという間の2年間でした。しかし実際は、第15地区委員長を託され会務を遂行するうえで望まれた結果を成し遂げるだけで満足することなく提案していける立場に立っていきたいとの思いは考えているうちに終わっていました。

今期はまず行動してから考えてみようかと思っています。地区委員ともども充実した地区活動を通して魅力ある技師会を広報していきたいと考えています。そして仲間が少しづつでも増えていけばもっと魅力ある技師会になっていくと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



## 第16地区委員長 工藤年男 春日部市立病院

今期、16地区委員長を担当する春日部市立病院勤務の工藤です。

社団法人東京都放射線技師会16地区会員とは、職場が埼玉県・茨城県・栃木県内で、自宅が東京都内の方、

もしくは都内勤務の東京都会員が転勤で16地区に勤務されている方で、平成23年4月現在56名の方が16地区会員に登録されております。

16地区活動として、毎年、埼玉県放射線技師会5地区と合同で7月頃に地区研修会・懇親会を予定。平成23年9月30日（金）には城北支部（5・6・16地区）研修会・懇親会を東京都放射線技師会センターで開催予定しております。

診療放射線技師の職場環境を改善するためには、会員（技師会）の力が不可欠です。技師会活動に対して、ご意見・ご要望をお知らせ下さい。お待ちしております。  
E-Mail: [kudou1040@yahoo.co.jp](mailto:kudou1040@yahoo.co.jp)



# 第60回 (社)東京都放射線技師会定期総会(抄)

平成23年3月5日(土) 東医健保会館

**司会篠原総務理事** ただいまより第60回社団法人東京都放射線技師会定期総会を開会いたします。はじめに、中澤靖夫会長よりご挨拶申しあげます。

**中澤東京都放射線技師会会长** 技師会の中澤でございます。土曜日の大変お忙しい中、第60回総会にご参集頂きましてありがとうございました。また、本日はJRC学会・総会前の大変お忙しい中に、来賓として日本放射線技術学会東京都会部会長の江島先生にお越しいただき心から感謝を申し上げます。

また、日頃高所高位から私ども技師会を指導していただいております、顧問・監事の先生方にも感謝を申し上げます。さて総会を始める前に三つのお話しをさせて頂きたいと思います。



ひとつは社団法人東京都放射線技師会(東放技)の組織力とパワーについてです。その一例として昨年の7月にJART本部主催による第26回放射線技師総合学術大会が開催されましたが、実は4月3日の第1回実行委員会が開催されるまで、企画がほとんど決まっていない状態でした。決まっていたのは海堂尊先生と山田邦子さんが来るということだけで、蓋を開けて驚きを隠せませんでした。その時点で中止のお話もさせていただきましたが、既に会場をキャンセルしても100%支払いわなければならぬ状況でしたので、開催を決意いたしました。東放技の方々、埼玉県・千葉県・神奈川県・茨城県から実行委員を選出していただき、わずか3ヶ月でしたが精力的に講師を決め、PC班には今まで以上に一生懸命やっていただきました。準備期間が無い状況の中で、参加者約1,900名の学術大会にしたというのが実態です。正に、奇跡的な事業の実施だったと思います。その前哨戦として前年度に第1回関東甲信越学術大会の開催、これも東放技が主催いたし

まして大成功裏に終わっております。東放技はリーダーシップ、組織力が本当にある素晴らしい会だと思ってお話をさせていただいている。

二つ目は、社団法人日本放射線技師会(日放技)との連携強化が大変進んでいることです。昨年6月6日に日放技をお預かりしてから、葛西副会長をはじめ小田副会長、篠原総務理事に東放技をある意味ではお任せして、JARTの事業に精力的に取り組んできました。本当にTARTの皆さま方とJARTは連携が深まつたと思っております。先ほど野口先生のお話にございましたが、医療機器安全管理料に関して今ある8品目にさらに5品目を追加する運動を展開しています。X線CT装置・核医学装置・MRI装置・DSAとシネの2種類の血管造影装置・インジェクター装置、これらを先ず医療安全の管理料1に加算していただきたいと思っています。初めてのことですが医療安全の視点から厚労省医政局指導課のご理解と医事課並びに各課のご理解を頂いている状況です。今後は、保健局より通達が出るよう努力して参りたいと思います。その他にポータブル加算、これはICU・CCU・ER、あるいは介護施設におけるポータブルについても加算をお願いしたいと思っています。先ほどのお話にもありましたけれども、技術料としての画像精度管理料をお願いする活動を厚労省に対して行っています。

また、昨日は厚労省に診療放射線技師の広告のできる認定技師制度の話し合いをさせていただいている。いくつかの指導がございましたので、それを準備して5月から3ヶ月間程の意見交換を行いながら、今年の秋には広告のできる認定技師制度の第1号を立ち上げていくための作業を行っています。これもTARTとJART、あるいはJIRAとの連携がうまくいっているからできていると思いながら進めています。

三つ目の話としましては生涯教育の更なる充実でございます。東放技の新執行部体制の事業計画の中で市川教育担当理事よりワンコインセミナーの企画のお話がありました。本当に素晴らしい事務所を構えましたので、毎月開催いたします生涯教育に参加していただき、会員の入会促進へつなげていただきたいと思っています。JARTも貿易センタービルに素晴らしい会場がありますので、そちらも開放しながら生涯教育の

場を提供し、きちんとした形で入会促進を含めて教育体制を充実していきたいと思っております。

今日は第60回の大きな節目の総会でもございます。皆さま方の忌憚のないご意見をいただきながら会を進めたいと思いますので、よろしくお願ひしまして、私の開会の挨拶とさせていただきます。

本日はご参列いただきありがとうございました。

司会 続きまして、ご来賓よりご祝辞を賜りたく存じます。はじめに、社団法人日本放射線技術学会東京部会部会長 江島光弘様にお願いいたします。

### 来賓あいさつ

江島東京部会部会長 皆さん、こんにちは。東京部会部会長、女子医大の江島でございます。本日はお招きをいただきまして誠にありがとうございます。東京部会を代表いたしましてひとことお祝いの言葉を述べさせていただきます。

改めまして、第60回東京都放射線技師会定期総会の開催がこのように盛会裏に行われますこと心よりお喜びを申し上げます。おめでとうございます。

社団法人東京都放射線技師会（東放技）は創立以来、今までの永きにわたって一貫して東京都民の健康維持、そして医療の発展また、先程会長が言われましたとおり、医療基盤の整備をなさってこられました。そのために必要な、磐石な組織造りと環境の整備を行いながら、社会の動向を充分見取って先を見越した事業展開をなさっておられます。この様々な事業に参加をなさいました、東放技役員の方々また会員の方々、そして、東放技の掲げる理念に賛同されて、この会を支えてくださった多くの企業、団体の方々に心より敬意を表します。これからも東放技は東京都民の健康と日本の医療の発展のため、必要な法人としての役割をさらにさらに増していくものと思われます。どうぞこれからも引き続き日本の医療のためにご尽力くださいますよう、お願ひ申し上げます。



私共、東京部会もこの度3月1日付をもって、日本放射線技術学会が公益社団法人として発足をいたしまし

た。かねてよりご案内いたしておりますように、部会会費の平成24年度全国統一に向けて、部会事業の効率化と学術事業の充実、会員数の拡大を更に大きく進めてまいります。つきましては事業の効率化そしてまた学術事業の充実、そして会員の拡大について大きく歩を進めて行きたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

平素からの東放技の東京部会へ対するご指導ご支援につきましては、心より感謝申し上げますと共に、今後とも東京部会の事業運営にご協力くださいますようお願いを申し上げます。

このたび、先程会長もご紹介くださいましたように、わたくしは4月7日から10日まで横浜で開催される、2011JRC横浜で大会長を仰せつかっております。日放技会長として中澤会長にご出席を願っております。この大会は東放技が行っております、生涯教育と同じに卒後教育の一環として、入門講座、専門講座を23講座行いますので、どうぞご利用くださいますようお願いします。その他には特別講演として、「医療と工学の融合について」「CADの新しい役割について」それから、招待講演は「東京スカイツリーの建設を通して」未知の高さに挑んだその建設にまつわるお話をお願いしました。大会の準備開催につきましては、東放技会員の皆さんにも多大なご協力をいただきありがとうございます。ほぼ準備も整い、実行委員会一同、皆さまの参加をお待ちいたしております。

来年、平成24年は東京部会の担当となります、第40回秋季学術大会は32年ぶりの東京会場となり、タワーホール船堀で保科正夫大会長のもと10月の4日から6日に開催されます。非常に会場を選ぶのが苦慮いたしました。財源が少ない中で、東京で開催できるかというようなこともございましたが、ぜひぜひ、皆さまのお力添えを得ながら進めてまいりたいと思いますので、重ねてご協力のほどよろしくお願ひをいたします。

最後になりますが、これからも東京都放射線技師会が益々より良い医療の発展に、ご貢献くださいますように、そして、ご発展なさいますように祈念をいたしましてご祝辞とさせていただきます。本日は総会の開催を誠におめでとうございます。

### 第60回総会進行

司会 江島部会長 ありがとうございました。ここで、ご来賓はご退席いたします。皆さま拍手でお送り願います。

それでは次第に従いまして、本総会の資格審査委員並びに総会運営委員をご紹介いたします。資格審査委

員並びに総会運営委員は総会運営規定により各地区から選出されています。資格審査委員として、栗屋浩介、湯浅仁博、壬生慎治、中西雄一、今野重光、鈴木 晋、宮谷勝巳、芦田哲也（敬称略）以上8名。資格審査委員長は中西さんです。よろしくお願ひします。次に総会運営委員として、細田直樹、松本 亘、中村浩英、横井 悟、沖田和之、諸岡達朗、柏倉賢一、丸山雅裕（敬称略）以上8名。総会運営委員長は柏倉さんです、よろしくお願ひします。それでは、資格審査委員会報告を中西委員長よりお願ひします。



**中西資格審査委員長** 資格審査委員会よりご報告申し上げます。平成23年3月3日、理事会承認時の正会員数は2,072名です。総会成立会員数は本会定款21条、24条の規定により691名以上あります。現時点での会員出席状況をご説明いたします。総会出席者数154名、書面表決数590名、委任状184名、合計928名。従いまして、第60回総会は成立することをご報告いたします。

資格審査委員長 中西雄一

**司会** それではこれより本総会の議長並びに副議長を選出したいと存じます。いかが取り計らいましょうか。

会場より 司会者一任

**司会** 司会者一任の声を頂きましたので私より指名させて頂きます。議長に第5地区の若杉慶市さん、副議長には同じく第5地区の白木 尚さん それでは議長団よろしくお願ひします。

**議長団挨拶** ただいま、ご指名をいただきました、第5地区の若杉です。第5地区の白木です。

**若杉議長** これより審議してまいります。

第1号議案・平成23年度事業計画案を私、若杉が第2号議案・平成23年度予算案を白木副議長が担当いたします。皆様のご協力をいただき、議事を進めてまいりたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

**議長** はじめに総会の運営について総会運営委員会報告を、柏倉賢一委員長よりお願ひします。

**総会運営委員長** 総会運営委員会よりご報告申し上げます。ただいまの時刻は2時56分です。これより、第1号議案・平成23年度事業計画案の審議を2時56分より

3時26分の30分間でご審議願います。次に、第2号議案・平成21年度予算案の審議を3時26分より3時56分の30分間でご審議願います。会員の皆様方の活発なるご意見とご協力をお願ひいたします。総会運営委員長柏倉賢一。

**議長** ただいまの報告について、異議はございませんか。異議が無いようですので、報告の通り議事を進めます。議事に入ります前に、総会職員の任命についてお諮りします。総会職員については、総会準備委員名簿がすでに会誌に掲載されていますが、この場で改めて議長団よりご指名します。はじめに、書記・写真・記録係として岩井譲憲、内藤哲也、森 美加、中谷麗、浅野 幸（敬称略）以上5名の方々です。続いて、会場係として 石田秀樹、岡部圭吾、高瀬 正、宮負敬子、雨宮広明（敬称略）以上5名の方々です。次に採決係として高橋潤一郎、高野修彰、松田紗代子（敬称略）以上3名の方々です。

最後に本日の議事録署名人として 野口幸作、大地直之（敬称略）のお二人にお願いします。それでは、以上の総会職員について、拍手をもってご承認願います。ありがとうございました。

つづきまして議事の進め方についてお諮りいたします。議案ごとに審議し、採決を行いたいと存じます。なお、採決の方法は反対、保留、賛成の順で挙手をもって行いたいと存じますが、異議ございませんか。それでは、議事に入ります。第1号議案平成23年度事業計画案を議題といたします。それでは執行部より説明願います。



### 第1号議案・平成23年度事業計画案

**会長** 第1号議案をご提案させていただきます。当会会誌東京放射線1月号22ページから24ページのなかから総括を説明させていただきます。

昨年4月に厚生労働省医政局長通達により「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」が通達され、「関係法令に照らし、医師以外の医療スタッフが実施することができる業務の内容について下記

の通り整理した…』とし、診療放射線技師については、『近年、医療技術の進展により、悪性腫瘍の放射線治療や画像検査等が一般的なものになるなど、放射線治療・検査・管理や画像検査等に関する業務が増大する中、当該業務の専門家として医療現場において果し得る役割は大きなものとなっている。以下に掲げる業務については、現行制度の下において診療放射線技師が実施することができることから、診療放射線技師を積極的に活用することが望まれる』

①画像診断における読影の補助を行うこと。

②放射線検査等に関する説明・相談を行うこと。

となっている。このことは、単に求められているというより、国民に対して大きな責任を背負うということにほかならない。生涯教育・専門教育などのプログラムを推進していかなければ、絵に描いたもちと揶揄されることにもなりかねない。

社団法人日本放射線技師会とも適切に連携・協力しながら、国民が求める安心で安全な医療、高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するとともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならない。診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定等を関連団体と連携しながら推進していく所存である。また、各支部で開催される行政まつり等において、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入していく公益事業も引き続き推進する。

昨年、社会的責任（SR）に関する国際規格ISO26000が発行された。ISO140001やISO9000のように要求事項を示し認証を取得する規格ではないが、社会的責任に取り組む企業・組織は、ISO26000を参考しながら自分たちの活動を点検・改善するという活用が想定されている。

社会的責任には、組織運営・人権・労働慣行・環境対策・公正な事業慣行・消費者（医療利用者）対応・教育など様々なテーマがある。公正が担保されたうえでの公平な医療、安心で安全な医療、クリーンでクリアなコミュニケーションのある組織運営等を展開しなければならない。

1972年に発表されたローマクラブによる「成長の限界」は、当時人口8億弱の西側先進国の成長の限界であった。今懸念されている限界はその10倍近い全世界人口の問題である。

1992年、直前に国連で採択され、リオデジャネイロでの「地球サミット（国連環境開発会議）」で署名が始

まった「地球温暖化防止条約」と双子の条約といわれる「生物多様性条約」の第10回締約国会議が昨年名古屋で開かれたが、私たちはよりよい医療の一員であると同時に、温暖化防止や生物多様性に対して責任ある行動をとらねばならない。

私たちは、このような地球全体の動きも見据え、診療放射線技師・職能団体としての社会的責任を果たし、結果として国民また他の医療職種から信頼され必要とされ、チーム医療の重要な一員と認知されるべく活動していかなければならない。社会的責任を果たし、我々の存在が社会的価値として認められる職能となるために、引き続き1) チーム医療の推進、2) 地球環境と調和した画像診断技術の向上、3) 生涯教育・専門教育の推進、を展開していく。

平成20年の第55回総会で公益社団法人への移行が決議され準備を続けてきたが、年度内にも監督官庁より認可される予定である。これに伴い、新定款と諸規定の整合、公益事業の仕分け等を行い、一層の公益的活動が求められることとなる。昨年創立60周年を向かえ、本会も名実ともに新たな時代に突入することになる。会員の皆様方のより一層のご支援とご協力をお願いする次第である。

総括のご提案をさせていただきました。定款に基づく本会の事業等は会誌に記載されています。それらを含めてご提案させていただきます。

**議長** これより質疑に入ります。発言者の方は所属地区、氏名を述べてから発言願います。質問に対しては執行部より説明いたします。

**会場** 第8地区所属雨宮です。公益社団法人化への質問です。昨年第58回定期総会で公益法人化のための定款が承認されました。その後公益社団法人の申請化を行っていると思いますが現在の進捗状況を教えてください。

**議長** ただいまの質問について執行部、説明お願いします。

**小田副会長** 担当より説明させていただきます。昨年の3月予算総会で公益社団法人に伴う定款改正を決議していただきました。その後、事業関係、経理関係を見直して昨年12月末に申請のための書類を都庁の担当官に提出しました。その後、1月末に40項目にわたる指摘事項の問い合わせ事項をいただきました。2月4日に事業担当の私と経理担当の矢野氏及び総務の篠原理事が都庁の担当官を訪問しました。その際、直接話を聞きながらその場で回答をし、また後日書面で資料提出をするなどを経て、3月2日に再度申請書類一式を

提出しました。なお、会計処理業務に関しましては、今回の作業に先立ち、公認会計士と契約を結び公益社団法人の新会計基準に則って作業を進めている次第です。今後も引き続き報告いたします。

**議長** ほかにございませんか。無ければ質疑を終わり、本件について採決を行います。

賛成多数、よって、平成23年度事業計画案は原案の通り承認されました。

## 第2号議案・平成23年度予算案

**白木副議長** つづいて第2号議案・平成23年度予算案を議題とします。執行部より説明願います。

**關経理理事** 経理理事 關 良充です。では、第2号議案 平成23年度（2011年）収支予算書（案）平成23年4月1日から平成24年3月31日までをご報告いたします。2011年2月号会誌をお持ちの方は11ページをご覧ください。「公益法人認定申請に係る平成22年度収支予算書から損益予算書へ組み替え補正予算の報告」をお読みいたします。



会員の皆様には、平素より格別のご協力を賜り、まことに有り難うございます。さて、この度、公益法人認定申請に際し、新たな公益会計基準では損益計算の方法で公益事業、収益事業、公益法人会計に区分した予算書を作成し、事業ごとの収益や費用の確認できるものであることが必要になり、22年度の収支予算書を損益予算書へ組み替え補正予算として計上しました。従来の資金収支計算書と異なり正味財産計算書において「収益」「費用」という概念に基づいた書式で表されているため、減価償却費や資産が計上されること、事業にかかる管理費は事業費に含まれる等、留意すべき点をご理解いただき、平成22年度第9回理事会において賛成多数にて承認されました。

では、次に、2011年2月会誌の12ページに掲載いたしました平成22年度収支予算書から損益予算書へ組み替え補正予算をご覧いただきますようお願いいたします。

次に会誌14ページ平成23年度（2011年）収支予算

書（案）をご説明いたします。先ほど申し上げましたとおり、新公益会計基準に基づき表の最上段左から科目の公益目的事業会計は、公益1体験活動講演相談事業、公益2研修会事業、公益3出版事業、共通と科目が分かれます。収益事業等会計は、他1相互扶助事業、他2表彰事業、共通に分かれます。そして、法人会計、23年度予算額で構成され、それぞれご報告してまいります。なお、金額1万円以下は省略させていただきます。

まず、I. 一般正味財産増減の部、1. 経常増減の部、(1) 経常収益、①会費収入ですが、公益目的事業共通として、小計1,463万円です。収益事業等会計の共通として、小計62万円、法人会計564万円で23年度予算額2,091万を計上しました。この会費収入の予算の立て方は、平成22年10月現在の会員数2,071名分、うち正会員数1,863名とし、新入会員を74名、未納退会分70名分の会費を8%減じ予算を計上しました。

次に、②事業収益、研修会事業収入 公益目的事業会計 公2 小計120万円です。収益事業等会計 法人会計はともに0とし、予算額は120万円計上しました。③雑収入、会誌広告掲載収入、公益目的事業会計、公3出版事業、小計150万円です。収益事業等会計は0とし、予算額は150万円を計上しました。④寄付金収入は公益目的事業会計、共通、予算額は4万円を計上しました。したがいまして、経常収益計は、公益目的事業会計公2研修会事業120万円、公3出版事業150万円、共通1,468万円、小計1,738万円です。収益事業等会計、共通62万円、法人会計、564万円の経常収益計の予算額は2,365万円の計上としました。

次に経常費用ですが、主な事業費を申し上げます。(2) 経常費用①事業費、会議費、公益目的事業会計、公1体験活動講演相談事業119万円、公2研修会事業49万円、公3出版事業25,770円、小計171万円。収益事業等会計小計は0、予算額は171万円を計上しました。印刷製本費、公益目的事業会計小計は695万、収益事業等会計他2表彰事業費小計5万円、法人会計10万円、予算額711万円を計上しました。雑費は、公益目的事業会計、公1体験活動講演相談事業費として27万円、公2研修会事業費11万円、公3出版事業費4万、共通58万で小計は101万円。収益事業等会計他1相互扶助事業として小計8万円。法人会計16万円。予算額は126万円を計上しました。次に、通信運搬費の公益目的事業会計、公1体験活動講演相談事業費17万円、公2研修会事業6万円、公3出版事業140万円、共通73万円で小計238万円。収益事業等会計は0、法人会計は18万円とし、予算額は256万円を計上しました。次に旅費交通

費ですが、公益目的事業会計、公1体験活動講演相談事業費は75万円、公2研修会事業費として32万円、公3出版事業5万円、共通は0、小計は112万円。予算額は122万円を計上しました。

次に②管理費はすべて法人会計となります。各予算費の内訳はご覧の通りです。なお、事業費にも管理費とともに同じ科目がありますが、公益目的事業と管理費にかかる事業との配分によりそれぞれ計上しています。したがいまして、経常費用計は公益目的事業会計、公1体験活動講演相談事業費として356万円、公2研修会事業211万円、公3出版事業810万円、共通592万円で小計として1,970万円、次に収益事業等会計他1相互扶助事業24万円、他2表彰事業費12万円、共通0で小計は約37万。法人会計として612万円、予算額は2,620万円を計上しました。

評価損益調整前当期経常増減額の公益目的事業会計小計はマイナス232万円。収益事業等会計の小計は25万円で法人会計はマイナス47万円となり、予算額の増減額は254万円のマイナス計上となります。

次に、科目の2. 経常外増減の部ですが、(1) 経営外収益、前期損益修正の法人会計は、2,650万円、経営外収益計の法人会計は同じ2,650万円となります。

次にⅢの正味財産期末残高の公益目的事業会計小計は3,648万円、収益事業等会計の小計はマイナス27万円、法人会計は273万円で予算額は6,077万円を計上しました。

以上で、第2号議案の23年度收支予算案の報告を終わります。ご審査よろしくお願いします。

**副議長** これより質疑に入ります。ご意見、質問が無ければ質疑を終わり、本件について採決を行います。賛成多数、よって、平成23年度予算案は原案の通り承認されました。



### 平成23年度スローガン

**議長** これより、平成23年度スローガンを読み上げます。拍手をもってご承認願いします。

平成23年度スローガン

- ・チーム医療の推進
- ・地球環境と調和した画像診断技術の向上
- ・生涯教育・専門教育の推進

以上をもちまして、第60回定期総会の議事は滞りなく議決されました。ただいまをもって議長団を解任させていただきます。

### 平成23年度・24年度役員選挙

**司会** 引き続きまして平成23年度・24年度の役員選挙を行います。

選挙管理委員会の皆様は本会役員選挙規程に基づき選出されています。お名前を紹介致します。

城東支部 富丸佳一、城西支部 大久保智史、城南支部 水野靖弘、城北支部 高橋克行、多摩支部 上野哲雄（敬称略）以上5名。選挙管理委員長は、城北支部選出 高橋さんです。それでは、高橋委員長、選挙の進行をお願いします。

**高橋委員長** ただいまより定款第11条第2項に基づいて平成23年・24年度の社団法人東京都放射線技師会役員選挙を本総会にて行います。



それでは、選挙管理委員会より役員選挙規程第2条・3条の資格を有する役員候補者を紹介します。会長候補 篠原健一、副会長候補 葛西一隆、副会長候補 小田正記、監事候補（立候補）中澤靖夫（監督官庁の指導による理事会推薦外部理事）佐藤清榮、理事候補、浅沼雅康、飯島利幸、石上信雄、石田秀樹、市川重司、江田哲男、大地直之、大室正巳、小野口敦、篠田浩、眞田鮎子、関真一、高坂知靖、高橋潤一郎、千葉利昭、野口幸作、森俊（敬称略）、以上会長1名、副会長2名、監事2名、理事17名であります。会長、副会長、監事は定数、理事は定数の範囲内であります。したがいまして、役員選挙規程第13条・14条に基づき、会長候補者のみ本日この会場にお集まりの会員の皆様の信任投票を行い、その他の役員候補については無投票当選とします。なお、信任の方法は、皆様の拳手により行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

会場より 異議なし

それでは、平成23年・24年度会長候補 篠原健一さんを会長として信任される方挙手をお願いいたします。不信任の方、挙手をお願いいたします。

信任 149名 不信任0名

選挙管理委員会は篠原健一さんが平成23年・24年度会長に当選されたことをご報告いたします。以上で平成23年・24年度の役員選挙を終わります。

**司会石田総務幹事** ここから石田が司会を担当します。選挙管理委員の皆様ありがとうございました。

それでは、新年度役員を代表いたしまして、次期会長よりご挨拶をお願いします。

**篠原新会長 挨拶4月号参照**



**司会** 以上で本日の全日程が終了いたしました。本会副会長・葛西より閉会のご挨拶を申しあげます。

**葛西副会長** 本日は忙しい中、ご列席いただきまして誠にありがとうございました。本日は第60回定期総会無事終了いたしました。また、新会長が選出されました。今まで以上にご協力お願いします。本日はどうもありがとうございました。

## 東京放射線合併号発行のお知らせ

平成22年度第8回理事会にて平成23年度事業計画案・予算書案において予算の弾力的な運用の提案があり検討してきました。その結果、「東京放射線」7月号・8月号を合併号とさせていただきます。

なお、合併号の発行日は7月11日を予定しています。会員の皆さまのご理解のほどよろしくお願いします。

# 誌上講座 放射線治療

## 第1回 総論

東京放射線治療技術研究会  
岩井 譜憲（昭和大学藤が丘病院）

今号から12回にわたって、誌上講座放射線治療を連載させていただきます。連載は東京放射線治療技術研究会の世話を中心に執筆させていただきます。各回のテーマは次の通りとなります。

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 総論      | 2. QCQA        |
| 3. 頭部治療    | 4. 頭頸部治療       |
| 5. 胸部治療    | 6. 乳房・子宮治療     |
| 7. 食道・腹部治療 | 8. 前立腺治療       |
| 9. 血液、皮膚治療 | 10. 小児治療       |
| 11. 緩和治療   | 12. 放射線治療の先端医療 |

近年がん患者は増加しており、2人に1人はがんに罹患し、3人に1人はがんで死亡するといわれています。がん治療においての3本柱は手術療法、化学療法、放射線治療であり、放射線治療はその1本を担っています。

がん対策基本法の施行も相まって放射線治療の需要は高まっており、この10年で放射線治療を施行した患者は2倍に増えています。しかし、がん治療において放射線治療を受ける患者は、欧米では約60%なのに対して、本邦では30%に満たないのが現状です。これらのことからも、今後放射線治療の需要はさらに増えていくことが予想されています。

しかし、放射線治療に従事する医師や診療放射線技師等のスタッフ数は現在でも十分とはいはず、2009年の時点で全国に放射線治療施設は約770施設、放射線治療医は約1,000名（認定医約500名）、常勤の放射線治療担当技師は約1,800名（うち専門技師約900名）であり、放射線治療に携わるスタッフの育成も現在の問題点の一つとなっています。

この様な状況で放射線療法が低侵襲治療や先端医療として、マスコミ等でクローズアップされることも多くなっています。しかし、システムが複雑になり放射線治療における事故が多発してしまい、マスコミを賑わせた事もありました。これまで放射線治療は精度管理（QCQA）を多く行ってきましたが、より多くの時間をQCQAに費やすことで事故の再発防止の対策や新しい照射技術への対応を行っています。

放射線治療の基本は外照射です。その外照射で新しい照射技術が出てきました。強度変調放射線療法（Intensity Modulated Radiation Therapy : IMRT）や画像誘導放射線治療（Image Guided Radiation Therapy : IGRT）、粒子線治療、定位照射等です。IMRTでは、正常組織の線量を従来の外部照射よりも抑えつつ、腫瘍の線量を増加させることができ可能で、これにより前立腺癌などでは治療成績が向上し、頭頸部領域の照射では口腔乾燥などの有害事象が減少しました。高度の計算と検証が必要で実際の線量分布が患者の動きに敏感なため、精密な位置合わせが必要になります。精密な位置合わせに有用なのがIGRTです。IGRTは各種画像技術と放射線治療を組み合わせ、治療時に腫瘍位置を画像上で確認してから放射線の照射を行う新しい技術です。今後IGRTの治療技術向上によって、呼吸や腸管運動による腫瘍の移動が大きい場合の治療成績向上が期待されています。



図1. リニアック

定位放射線療法は、正確な位置精度を保ちながら外照射を行う技術で、1回照射で治療が完結する定位手術的照射 (Stereotactic Radiosurgery : SRS) と分割照射による定位放射線治療 (Stereotactic Radiotherapy : SRT) に分けられます。脳や体幹部の限局性の病変に対して、限局して放射線を照射する技術で、病巣部に十分な線量を照射し、周囲正常組織への被曝を抑えられるため、1回の線量を多くすることが可能となりました。定位照射の技術を応用すれば治療期間の短縮が期待されています。これらの治療はリニアックを用いても出来ますが、ガンマナイフやサイバーナイフと呼ばれる専用の装置も臨床に用いられています。

粒子線治療では、陽子線、炭素線などの重粒子線治療装置の小型化が進みました。粒子線治療は1930年代に始まっていますが、研究所以外での治療装置の実用化が始まったのは最近になってからです。本邦では、2003年に高度先進医療として認可され、現在先進医療として全国各地で行われています。

放射線治療を行うためには治療計画を行いそれに基づき照射が行われます。その治療計画に用いられる治療計画装置 (Radiotherapy Planning system : RTPs) はコンピュータの進歩に伴い年々進歩しており、現在では3次元治療計画が標準となり、モンテカルロシミュレーションによる治療計画も実用化が進んでいます。

治療計画にもMDCTが活用され、4DCTの導入も始まっています。それにより呼吸同期や呼吸制御による高精度治療も行われるようになりました。

放射線治療に用いるMVのX線とフラットパネルを用いた位置照合システムも向上し、シミュレータ画像とのフェージョンによる位置照合が可能となり、さらにそれらを用いたコーンビームCTも可能となっています。また近年では、リニアックにkVのX線管を搭載してkVX線による照合やコーンビームCTも行われるようになりました。

密封線源を用いた小線源治療においては、従来からあるRALS (Remote After Loading System) も線源が小さくなり、これまでの子宮等の腔内照射の他、様々な部位に用いられるようになりました。線源が小さくなつたため組織内照射も適応部位が多くなってきています。線源としては<sup>192</sup>Irが多くなり、半減期が短くなつたので3~4ヶ月に一回線源交換が必要となり、これらの管理業務も必要となります。

また、<sup>125</sup>Iの永久挿入線源が使用可能となり、前立腺領域において永久挿入治療が始まり、急激にその件数は増加しております。

密封線源ではありませんが、骨多発性の転移に対して<sup>89</sup>Srによる治療も出来るようになりました。Srの骨親和性を利用したもので、疼痛緩和に大きな威力を發揮しています。

簡単に放射線治療の現状を述べてきました。次回から各論として詳細を述べていきます。どうぞご期待下さい。



図2. RALS装置

## 参考文献

- ・阿部容久：放射線治療専門技師の役割と未来、(社) 東京都放射線技師会編, MOOK医療科学No.4 ラジオロジカルエキスパートへの道, 51-69, 医療科学社, 2010
- ・北原規: 放射線治療 北原規 相羽恵介編, 化学療法プラティカルガイド, 2-19, 南山堂, 2009
- ・中川恵一: がんのひみつ, 朝日出版社, 2007
- ・唐澤久美子: 放射線治療とは 唐澤久美子 小泉哲夫 小澤修一編, 放射線治療分野の医学物理士のための基礎知識, 3-7, 篠原出版新社, 2009

# 震災と原子力災害について

国際医療福祉大学保健医療学部  
放射線・情報科学科 金場敏憲

今回東北地方で発生した大規模で大きな地震と津波に端を発する東日本大震災は、原子力災害をもたらした。そこで、私の周囲でおこったことから、この災害を考えてみた。

### 1. はじめに

2011年3月11日午後2時46分18秒。東日本大震災の始まりである。当時、私は神戸のJICA兵庫にて各国から参加した放射線技師の研修会をしていた。折しも隣の部屋では、昨年大きな地震を経験したハイチ国より政府関係者を招き、ハイチ地震の復興会議が行われていた。その矢先の出来事であった。然しながら、今回の地震のことを知ったのは、当日の夜になって東京への「帰路につこうとした新大阪駅であった。そこで初めて東海道新幹線が夕方より不通であり、どうやら地震があったらしいとの断片的な情報のみであった。しかも山陽新幹線は動いているので、駅には人があふれ、その結果、大阪市内のホテルは満室。段々と深刻さが増してきた深夜、やっとTVニュースで事情がわかつた次第である。携帯も通じず、公衆電話も少ない中、東京の自宅に連絡をしたが、まさかこのような大参事になり、原子力発電所の惨事まで誰が想像したであろうか。あくる日午後になり、動きだした新幹線にて東京に着いたが、東京駅でも仮眠所が設けられていた。東北新幹線も不通。高速道もだめ。しばらく東京で待機となった。3月15日になり、那須塩原駅まで開通した新幹線で大学の職場に行ってみると、悲惨な状況にあり、我が研究室へは窓を破って入る有様。その後毎日繰り返される大きな余震と計画停電の中、東京ビッグサイトの被災者支援のための放射線測定のボランティアに駆けつけることとなった。この東京ビッグサイトでの東京都放射線技師会の活動の模様は、順天堂大学病院に勤務する木暮氏により詳細な報告がなされているのでご覧いただきたい。

今回は、震災全般について私の思うことを記して話題提供としたい。

### 2. 一般論

#### ・計画停電

東京は、一部を除き計画停電を免れたが、那須地区は、

一日に2度、しかも長期間に亘り経験をした。町は、真っ暗、昼間でも店は営業停止。信号は停止。町の機能が停止したのである。

さらに食を求めるよりも車のガソリン不足を心配して動けず、地震の片付けをしようにも部屋は暗く、エレベータも地震対策で使用禁止。水道、電気のライフラインが壊れた上に、建物内は粉じんの中。しかし、階段の昇り降りでメタボ対策にはなった。

#### ・駅前無法地帯

地震により避難してきた福島の方達の放置自動車が那須塩原の駅前ロータリーを占拠し、公共交通のバスが運行出来ない状態が数週間も続いた。一時的放置のつもりで長く引き取りに来られなかつたものと思うが、多くの人が大迷惑であった。(東京の場合は、どうなることやら)

#### ・地震対策

家具の倒壊を防ぐための方法は、多く紹介されているが、今回の新たな経験は、免震構造よろしく本棚、ロッカーの下にX線フィルを引いて置いていたことだ。部屋の壁にぴったりと付けていた書架は、壁との共振で軒並み倒壊した例が多かったが、壁との間に隙間を開け、棚の下にX線フィルムを引いていた棚類は、中身も含めて無事であった。また、各部屋に数本置いていた大型ペットボトルの保存水は大いに役に立った。またマスクとゴム手袋は粉塵対策として重要であった。

#### ・世界からの支援

日本で起きた大きな地震と津波のことは、いち早く世界に配信されたせいか、世界中の技師や、友人からお見舞いのメールが届いた。もっとも、すぐに返事ができる余裕もなかったのが実態である。

そのメールの大半は、「Tsunami」と記されており、「KARAOKE」と同様に立派な国際語となっていた。中でも感謝すべきことは、国内の長期に亘る内戦の結果、貧困となったカンボジアからの支援である。

州立病院の技師長は、公務員としての少ない給料の中から義援金を大使館に届けてくれ、国立小児病院の給食スタッフは、慰安旅行用に少しづつ積み立てていた費用を全額、義援金に回したとの連絡であった。ま

た観光地として有名なアンコールワット在住の日本人会でも支援活動が広がっている。ちなみに、カンボジアでは、病院給食が前記病院で日本のNGOの支援により開始され、診療放射線技師は、昨年初めて正規の大学教育を受けた学生が卒業したばかりである。(今まで制度そのものもなく、大学のみならず正規の教育は皆無であった)

#### ・システム

日本でマニュアルという言葉が一般的になったのは、ファミリーレストランや、コンビニの普及によるところが大きいが、システムという言葉もICの発達とともに一般的になったと思う。しかし、今回の福島原発の事故をみても、「システム」「マニュアル」がどこまで生かされていたのか、考えられていたのかが疑問である。「原発は安全です。」の言葉は今だに使用されている。しかし付随する施設を含めての原子力発電所であり、原子力発電システムである。しかし、未だに外部電源の供給が「想定外」で供給されなかつたことが原因と言っている。システムを考える時に、この外部電源が断たれた時に非常用電源車も念頭において、どのようにして電源を供給すればいいのかを構築することがシステムであり、安全を謳うことが出来る。ところが、今回はこのシステム、マニュアルが出来ていなかった。

そこで思い起こされるのは、1990年に端を発する湾岸戦争 (Gulf war Crisis) である。この時、大勢のアメリカ軍がクウェートに侵攻したが、前線の病院を守るために1万人の兵隊に対して一艘の大型病院船が配置され、砂漠のテント式病院の周辺には安全確保のためにミサイルまで配備されたのである。さらに前線での不足する放射線技師を補うために、アメリカ国内に臨時の技師養成学校が即座に開設された。つまり、ひとつの事態にあらゆることが考慮されて、しかも即座に実行されたのである。

#### ・医療界の動き

医療界においては、各地の医師会や日赤、国立病院機構、D-MATなどが医療支援をおこない、現在も継続中であるが、医師会では通常の「災害用トリアージカード」ではなく、「JMATトリアージカード」を活用したことに注目したい。従来のトリアージカードでは、区分を4段階(緑、黄、赤、黒)としているがJMAT(日本医師会災害医療チーム)では、3段階の区分として①要観察(白)、②要注意(黄)、③要治療(赤)として特に慢性疾患のある患者さんの診察に対応した。

また、外国からの医療支援で注目すべきは、イスラエル国からの医療部隊派遣であった。今回日本で外国人医師の医療行為を認めた初のケースとなつたが、多

くの課題も残した。それは、宮城県が外国の医療部隊は「混乱を招く」との理由で①日本人の医師が同席する、②検査のみで治療は出来ない。③通訳、食事その他は単独で、などの厳しい条件をつけ、結局JICA(国際協力機構)のJICA専門家経験の医師やJICA職員の協力で活動がなされた。新聞などによると、医療部隊は、イスラエル国防軍(IDF)の軍属と予備役から構成される医師14人、看護師7人、検査技師・薬剤師などの医療従事者9人、その他のロジスティック要員など総勢約60人で構成された診療所を開設した。X線撮影室もつくられ、ポータブルX線とFPDを使用したデジタルX線システム等により、医師はノートPCでカルテ管理や患者のX線画像を参照し、超小型超音波装置を利用して妊婦検診などをおこなつたとのことである。もっとも昨年のハイチ地震では日本のD-MATが世界で初めてFPDのデジタルシステムを持ち込み各国から注目を集めたことが、小西英一郎国際緊急援助隊員(RT)によってJART Vol57/690に紹介されている。なお、同じ敷地内にあった救護所は多くの患者を抱えていたが、イスラエル医療チームは前述の制約のために、1日の患者は14人足らずであり、多量に持ち込んだ薬品と薬剤師の出番はなかったとも聞く。

医療界では通常、急性期、慢性期などと症状により分類するが、歯科分野では被災者の口腔ケアだけでなく、ご遺体の身元確認でも大きく活躍した。歯科医により歯列や治療痕の確認も目視するが、携帯型X線装置とデジタル機器の組み合わせで歯のX線撮影も随分なされた。ここにも診療放射線技師の活躍があった。硬直化し、腐乱した遺体の撮影は想像を絶するものであり、精神的負担の大きさが残ったものと思われる。そしてここにも課題が残っている。それは撮影したX線写真を何と照合するかということである。カルテ、保存されていたX線写真は流失、あるいは「秘密の保持」の壁もあり、身元確認に困難を極めたようである。今後、Aiの在り方、技師の関与の仕方を含めての「広域災害医療問題」として検討し、解決することが望まれる。

#### ・放射線技師会の動き

日本放射線技師会、茨城県放射線技師会では、JCO臨界事故(1999年9月・作業員2名死亡)後、その事故報告をまとめ診療放射線技師がどのような関与をしたかについて報告している(JART、茨城県放射線技師会)。その時の教訓を生かし、日本放射線技師会では政府の要請を受け16日には福島県へ放射線サーベイのための技師派遣を実施し、東京都放射線技師会では、東京都福祉保健部からの協力依頼により、東京へ避難された方々への放射線測定業務を24日から実施した。

それまで東京消防庁によってなされていた被ばく者の測定は、放射線専門家である診療放射線技師へと引き継がれた。これにより、被災避難者は放射線の専門知識とカウンセリング的要素を持って接する技師から安心感と信頼感を得られたであろう。この経緯については本誌の前号を参照されたい。なおビッグサイトで当初実施されていた測定業務は、4月25日より味の素スタジアム内の一時避難所において移動し、5月中旬まで継続される。

#### ・報道写真から

① 地震翌日の朝刊：地震翌日の朝刊では、巨大地震と大津波のことのみであり、まさか全国に影響を及ぼす放射線の影響まで誰が想像したであろう。



①地震翌日の朝刊

② 日経3月16日：「放射線技師会など福島に専門家…」の見出し。これほど大きな見出し（放射線技師の文字）は、初めてであろう。



②放射線技師会など福島に専門家の見出し 日経新聞3月16日

③ 放射線測定を受ける人たち：汚染状況がわからない時点の3月16日の測定では、完全防護による測定は必要であったと思うが、測定を受ける人にもう少し楽な姿勢をとらせてあげればと思う。この時点では、放射線技師会からの派遣隊は到着していない。



③放射線測定を受ける人たち 読売新聞 3月16日撮

④ 両手をあげて：テレビ、新聞等でお目にかかった風景であるが、頭部や、腰を測定している時に両手を上げさせて測定する必要があるのだろうか。測定メータに夢中になるよりも受診者に配慮が欲しいものである。



④両手をあげて

⑤ 避難所における長蛇の列：大勢の被災者が測定を待つ状況下において防護服、手袋、マスクと防備は完全に見えるが、粉じんによる放射能の広がりを考えると、頭部には帽子が是非欲しいものである。



⑤避難所における長蛇の列 読売新聞 3月15日撮

⑥ 防護服・マスク

今回のような災害では、放射線用の防護服以前の問題として、放射能を含む粉塵対策用に化学防護服の必要性がクローズアップされている。化学防護服には防

護性、耐久性（耐摩耗性）、快適性（通気性）の3つが要求されており、さらに反撥性、撥水性、粒子バリア性、帯電性なども必要である。

この着用セットとして必要なものはマスク（N95）、ゴーグル、アウターグローブ、インナーグローブ、防護服、シューズカバーであり、このセットで3000円程度で準備できる。この防護マスクで有名なのが、N95と呼ばれるマスク（130円）である。立体構造のノーズクリップ方式は密着性も向上させてある。

N95とは、米国労働安全衛生研究所（NIOSH）のN95クラス認定の意味であり。0.1  $\mu$ m程度の粒子を95%以上除去する性能とされている。企業におけるB.C.P（事業継続計画：Business Continuity Plan）でも取り上げられている。なお変わりダネのマスクとしてマスク内に銀粒子AgとハイドロキシアバタイトHApを含有しウイルス対策に寄与できるものもある。一方、簡便型としては、2009年5月国内で新型インフルエンザの初感染が確認された神戸では、マスクが品不足になり、キッチンペーパーにゴム紐をかけて代用品とした。なお陸上自衛隊の装備として、我々が着用する鉛ゴムを封入した放射線防護衣ではなく、柔軟性のある「鉛毛」などによる放射線防護服を着用し、新聞見出しにある15kgの装備となったようである。



⑥防護服 読売新聞 3月16日陸上自衛隊撮

#### ⑦放射線検査「義務付け」

避難した人たちが、放射線測定を受け、「異常なし」とする証明書を提示しなければ医療機関で受診できないケースや、避難所に入所できないとの防護策がとられたが、なかには過剰反応し、急患の搬送拒否や、診療拒否もみられたようである。福島県では、13日から県内13ヵ所で被災者のスクリーニング測定を始め、17日からその測定結果を「スクリーニング済み証」として発行した。



⑦放射線検査「義務付け」偏見で過剰反応 毎日新聞 3月28日

このことは、JART Vol.58/703の第3次隊報告にもみられている。本来は、「被災者が自分の放射線の量を知ることで安心を得る」ことを目的としてスタートしたはずであるが、県内外の受け入れ施設からは『証明書が欲しい』と求められ、どんどん過剰反応へとつながり、福島県地域医療課でも「『証明書』で利益を受ける人が多いので発行を続けた」とマスコミに答えている。さらに受け入れ側の山形県の例では、以下の文言を使用した「証明書」を発行した。

対象者： ○○  
東北地方太平洋沖地震による被ばくに関する放射線測定検査結果は、  
一般の人に影響を及ぼさないレベルでした。  
測定日：平成23年3月○日  
測定実施機関： 山形県○○保健所

さて、皆様はこの文言をどのように捉えたであろうか。

#### ・義援金

多くの団体で義援金の募集がおこなわれており、技師会でもその活動をしているが、このことについても触れてみたい。多くは、「義援金」としているが、本来は「義捐金」が正しいようである広辞苑によれば、この「捐」は、「する」の意味を持ち、慈善・公益・災害救助などのために金品を寄付することである。日本赤十字社では、義援金の他に「救援金」と使いわけている。義援金は国内で発生した大規模災害に対して配分委員会に送金し、救援金は海外での大規模自然災害や紛争等に際して活動する資金としている。また、新聞社では救援金としているところもある。救援金とは、とくに遭難や災害時に危険や困難な状態から救い出すためのものである。また「支援金」とは、NGOなどの活動費として援助する場合などに用いられる。特に有名な「国境無き医師団」などは支援金をもとに活動し、このお金でスタッフの給料も払い大規模な活動

をしている。最近のテレビ局では、「募金」としての募集を開始した。さて、東京都技師会では、JARTと連携し「東日本支援募金」の募集をおこなっているが、そのまま被災地区や被災者への送金とするのではなく、この「支援金」で放射線測定器の購入や、災害活動用の資金として活用することも検討してほしいものである。そのほか、「技師会名入りのメッシュチョッキ」、「災害時用の耐衝撃型コンピュータ」「化学防護衣セット」なども装備品として欲しいものである。

#### ・ペットの測定

もちろん我々の業務のPETではないが、動物のサーベイをするかしないかについては、議論が分かれており、技師会誌にも「家族の一員として」とか「人のみの測定」の記事がみられている。しかし、ペットとして飼育している方々は、ペットを抱くことが多いのでヒトのみの測定は意味を持たないことになる。むしろ、体毛の多いペットこそ線量が高く、周囲に影響を及ぼすはずである。

#### ・避難所

避難所については、多くの報道や、今後の検証がなされるであろうが、我々が注意すべきは、被災地に近い避難所での測定は、入口にも注意をはらい、足ふきの用に足るものを準備する必要がある。放射性物質が土足に付着していくとも、汚泥となった震災地からの避難では、乾いた泥による粉じんが測定室や、避難所を汚し、2次的健康被害を生じさせている。また、あらゆる政府組織、NGOからの出向者やボランティアは、清潔、不潔の概念や取扱方法に慣れた方は少ないので、医療スタッフとしての力量を發揮する必要もある。

### 3. 被災者緊急受入れ施設

福島の原発事故の報を受けて日本放射線技師会では、その翌日12日より中澤会長を本部長とする災害対策本部を設置した。そして14日には厚労省の要請により放射線測定器の微用に応えるため東京都放射線技師会の篠原氏（現TART会長）が日放技に赴くと同時に役員、委員に測定器の把握調査を開始した。3月16日には東京都技師会の市川隊員を含む、第一次隊が現地情報も充分でない中を出発し、本会では東京都福祉保健局より放射線サーベイへの協力要請をうけ、避難者の放射線測定業務を東京消防庁より引き継いだ。3月24日（木）。この時点ではあくまでも口コミでのボランティア募集として、手探りの中で始まった。私の職場は栃木県の那須地区にあり、研究室も散乱、片付けるにも電気、水道が使えない状況下にあったので、その時にできることとして測定ボランティアに名を連ねた。

東京都の被災者緊急受入れ施設は、東京ビッグサイ

トと味の素スタジアム、東京武道館であったが、「測定室」を設けたのは当初、東京ビッグサイトのみであった。その後味の素スタジアムに移動した。

測定開始2日目には、測定記録紙、測定マニュアルも出来上がっていたが、その後多くの参加会員の意見を取り入れ、徐々に改善されていった。なお、東京都放射線技師会が、これまでに測定した最大値は、3000cpm程度であった。10<sup>4</sup>cpm以上では、「除染室」に案内することになっていたが、ビッグサイトの託児室、医務室部分にある「シャワー室」はそのまま一般排水とする構造のために、いわゆる法律でいうところの「除染」がひとり歩きをし、都民への更なる風評被害を避ける意味から「除染室」の名称を変更し、「洗浄室」として看板を掛け替えた。実はこの名称の変更についても、容易ではなかったが、東京都庁に対する専門家集団としての篠原会長の行動が大きかった。放射線の測定室は西口ホールの玄関脇に個室がつくられ、当初は入口脇に「測定室」の大文字のみであったが、2日目の深夜に「東京都放射線技師会」の幟旗を掲げた。本来は主管である東京都の許諾を必要としたはずであるが、深夜にもかかわらず、高坂理事が駒大の名古先生と技師会事務所まで車を走らせて掲揚できた。この東京都放射線技師会の旗は、被災者に安心を提供し、技師会の責任を明確にするために役立ったと信じている。そして4月7日には、秋篠宮ご夫妻が慰問にみえられ、殿下は、放射線測定の方法を知るために測定室を訪問され、サーベイメータを手にとられて、東京都放射線技師会の技師の説明を受けられた。測定は24時間体制で開始し一週間にも及んだが、その後短縮し午後10時までとなった。東京都の配慮で都職員とは別に、「放射線技師控室」の看板を掲げた大きな部屋をいただいたが、3月の寒い中での毛布だけの雑魚寝は、一日でも厳しいものがあった。しかし被災者は、このような状態が長く続くと思うと涙が出た。

入所者用の支援物質やボランティアは日を追うごとに充実し、子供と遊ぶボランティアやデンマーク大使館のシェフによるデンマーク料理の差し入れ、大使家族からのレゴブロックの寄付などがあり、ロビーには桜の庭園も造られた。

以下、写真にて若干の模様を紹介したい。



東京都放射線技師会の  
幟旗の掲揚



少しでもリラックス  
して受けてもらいた  
い測定



都庁職員に対する啓蒙も重要



2階の商談室に設けられた放射線技師控室



控室内での仮眠風景



仕分けされた救援物資

**求人**

臨床検査技師・放射線技師・看護師・准看護師  
臨時職員としても構いません。

御家族 3~4 人で生活可能な寮を無償で提供させて頂きます。

ご希望の方は、下記にご連絡下さい。

志太記念脳神経外科  
静岡県焼津市小柳津 371-1  
電話番号：054-620-3717  
FAX : 054-620-3732

ご連絡の際は、避難所からの連絡とお伝え下さい。

放射線技師の求人情報（家族にも寮を提供）



味の素スタジアム避難所案内版



味の素スタジアム（観客席下が測定室）



環境測定 (味の素スタジアム)



味の素スタジアム内測定室



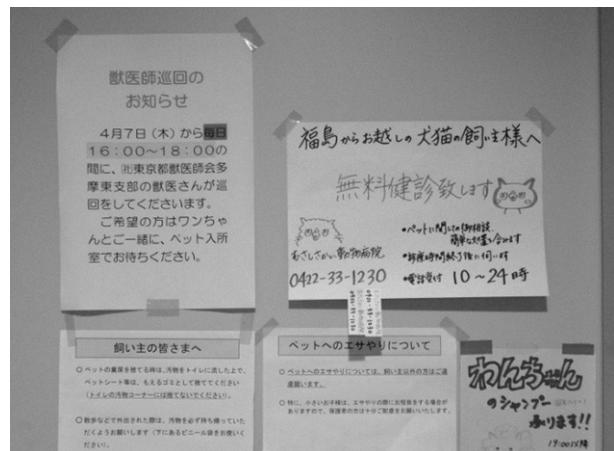
被災者配布用新聞にはRT新聞も



多くのRTの意味を羅列した福島の新聞でした



味の素スタジアム避難所では、ペットに関する多くの掲示



獣医による巡回診療、ドッグランなど

#### 4. まとめ

今回は、大地震という避けられない自然現象に端を発した原子力事故を含むこの事態に即応して、震災被災者の放射線測定という任を担ったが、我々診療放射線技師、東京都放射線技師会で「できること」、「すること」を考えるよい機会となったことは言うまでもない。この活動では、新たな人との出会い、被災避難者からの教えなど多くの糧を得られた。国際医療福祉大学では「共に生きる社会」を目指した大学教育をおこなっているが、この教訓を実践、学ぶ場となったことを感謝している。

#### 参考文献

- 日本放射線技師会雑誌 2010.Vol57 委員会報告①大規模災害対策について②医療被曝対策委員会活動報告
- 日本放射線技師会雑誌 2010.Vol57-688 資料：放射線災害に対する対策状況調査結果について
- 日本放射線技師会雑誌 2011.Vol58-703 協力要請に応えて
- 東京放射線 2011 Vol.58-684 東京ビッグサイト避難所サーベイ派遣報告
- 臨界事故における放射線技師 茨城県放射線技師会 1999年冊子
- 原発事故緊急対策マニュアル 合同出版 2011年4月25日第1刷

## 東日本大震災支援募金 ご協力を

(社) 東京都放射線技師会

2011年3月11日に起きた東日本大震災により、被災された皆さんに心よりお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたします。

(社) 東京都放射線技師会では、震災の被害が甚大かつ広範囲に及んでいることから被災地を支援するために、支部・地区研修会等を含めた東放技事業において支援募金を呼び掛けます。また、郵便振替、銀行振り込みについても検討しております。

寄せられた支援金は、(社) 日本放射線技師会と連携を図り被災地域に寄託します。

# ボランティア・サーベイを経験して

新葛飾病院（第6地区） 岡部博之

忘れもしません。2011年3月11日14時46分 「東北地方太平洋沖地震」が発生しました。

私は、丁度、外来患者が途切れた合間に、パソコンで資料を作成していました。

パソコン画面が緩やかに動きだし、地震を把握した私は、読影室のテレビを“震度幾つかな？”と軽い気持ちで見に行きました。しかし、地震は収まる事はなく次第に大きくなり、ガタガタとドアが悲鳴を上げ、地面が横滑りする様な感覚で立っているのもままならない状況になり顔を引き攣らせました。後のテレビの報道では千葉のコンビナートが火災になり、“東北方面では津波に発生に注意して下さい”との情報が放映されていました。この時点では福島原発の事は全く予期せぬ事でした。

19時03分、枝野官房長官が「原子力緊急事態宣言」を発令、翌日14時頃、1号機周辺にセシウム検出となっていくのです。

東北地方の方々の安否を気遣うしか出来なかつた私に、3月22日東京ビックサイトにおけるボランティア・サーベイの話が舞い込んできました。東京都の要請により、避難されて来た方々の“高い放射能を被ばくしているかもしれない”という不安を取り除くため、測定を実施し安心を促す目的とするものでした。しかし、このような事をしたことがない私にとって、GM管の取り扱いおよび被測定者の方たちからの質問に答えることが出来るのか不安を抱きつつエントリーしました。どのような質問にも適切に答えられるように学生時代の教科書を引っ張り出し、メディアの情報やインターネットを駆使し、情報の収集を行いサーベイに向かいました。

東京ビックサイトへ行ってみると場所がわからず、まず総合受付に向かいました。都の職員の方に、“東京都放射線技師会から要請によりボランティア・サーベイ

に来ました”と伝えると、“ボランティアは受け付けて要りませんが…”といわれ戸惑いました。しばらくお待ちくださいと数分待たれたのち、受付の方の勘違いとわかり測定場所へ案内されました。施設としても混乱の様子を垣間見ました。

すでに待機していた技師の方に測定の流れや取り扱い等を、親切にレクチャーして頂きました。サーベイを受けに来た避難者の方々は、ご自身の体への影響・地震への恐怖、東北の住まいへの心配など、心労が募っているようでした。サーベイ結果を説明すると一様に安心されました。報道では放射線への影響は無いとされていましたが、やはりご自身が測定を受け、結果を聞く事により安心したようでした。心労の一部でも取り除く事に協力できたことを心より嬉しく思います。

測定の合間にビックサイトの施設見学を行いました。住居スペースには入りませんでしたが、パーティションに区切られ、床に薄いマットが敷かれているだけの質素な感じでした。

後日に夜間のボランティアも経験しましたが、夜はまさに底冷えする環境で、正直な話、早く朝になりボランティア時間が終わってほしいと考えたくらいです。そんな事を考えた私は、避難者の方に申し訳なく思います。また、会場には小さな子供たちのためにガチャピンたちが遊びに来っていました。ガチャピンに抱きつく子供たちの様子は、とてもすばらしい笑顔で私の心も癒してくれました。しかし、この子たちの今後の生活を考えると切ないものを感じました。

私は果たして力になれたのか？ 疑問に思うところはありますが、測定結果を聞いたときのホッとした顔を見せていただけた経験は、私にとっても自信につながり財産になりました。

今後、震災の終息と復興を心よりお祈り申し上げます。

# 東京ビッグサイト・サーベイボランティア印象記

慈生会 野村病院 清水賢均

3月27日（日）に同僚と2人で東京ビックサイトのサーベイボランティアに参加しました。参加するにあたり、2日前に参加していた上司よりアドバイスを受け、また、放射線測定の復習として放射線管理士取得時のテキストを読み返し、測定器の取り扱いと測定値の読み方を再確認しました。GMカウンターは、核医学で廃棄物の測定で使用したことはありますが、人体での測定経験はありませんでした。このように知識の整理と心の準備をしてサーベイの当日を迎えることとなりました。

当日、会場に集まったボランティアの方々と測定器の取り扱いや表示数値の読み方を確認し、その後、各地点でのバックグラウンド測定を行きました。測定地点は、会場（屋内）と屋外とで地表と地表より1メートル高の2点で測定を行いました。値としては、会場内（屋内）でのバックグラウンド測定値は0に近い値で屋外は少し値が高く、測定の高さにおいては地表の方が高かったです。また、当日の午前は風が強かったので、風上に測定器を向けると計器が振れていきました。このバックグラウンドの測定を行う作業で、放射性物質が飛散していると報道されていましたが、現実に飛散し

土壌に堆積していることを実感させられました。

このように準備をして測定希望者を待ち、実際にサーベイ依頼があったのはお昼頃で、10人ほど来られたうち私は3人の測定を行いました。測定される人に配慮し、計測音は消音にして行いました。測定されている方々は平穏を保っている人が多かったですが、中には読み上げる数値が高いと反応する人もおり、目に見えないものが数値として出てきたことに驚いたという感じでした。結果として、測定部位では土の付着が多い靴裏の値が高かったものの、除染が必要な人はいらっしゃいませんでした。

今回、このようなサーベイのボランティアに参加できたことは、そう経験できることではなく、あってはならないことだと思いますが、未曾有の災害がおきれば可能性はあります。そのような時に放射線に対する知識がある私達が、少しでもこのような場面において行動できたことは、とても意義があるものと考えております。この経験を生かし、今後もサーベイのボランティアに参加し、また、自分の周辺で被ばくに対する不安がある方への説明を行うなど、少しでも社会に貢献できるように行動できれば幸いと思います。



測定練習風景1



測定練習風景2

## NEWS ひろい読み

# 放射線 健康にどんな影響があるか

### 100mSvでがん危険性0.5%増

放射線の健康への影響で明らかなのは、がんになる危険性が高まることだ。では、その「程度」はどれくらいなのだろう。放射線の体への影響を表す単位にはシーベルト (Sv) が用いられる。世界の放射線の専門家で作る「国際放射線防護委員会 (ICRP)」によると、放射線を全身に一度に浴びると、がんなどで死ぬ危険は1,000 ミリシーベルト (mSv) あたり5%高まる。100mSvなら10分の1の0.5%、200mSvなら1.0%危険性が増えるわけだ。

日本人の約30%は、がんで亡くなっている。100mSvの放射線の影響が加わると、がんの危険性は0.5%増えて30.5%になり、200mSvなら1%上乗せされ31%になる計算だ。がんの原因の約30%はたばこだ。危険性が0.5%高まる100mSv程度の放射線と比べた場合、発がんへの影響は喫煙の方がはるかに大きいと言える。一方、放射線量が100mSvより少ない場合、がんの危険性の差はわずかで、はっきりした影響はわからない。一般に「明らかな健康障害が出来るのは100mSvから」とされるのはこのためだ。

### 放射性物質 魚に蓄積しにくい

福島第一原発周辺の海域では、原子炉等規制法が定める基準を超える放射性ヨウ素や放射性セシウムが検出されている。魚への影響はないのだろうか? 魚にたまる有害物質では、水銀が知られている。プランクトンを小魚が食べ、さらに大きな魚が小魚を食べる過程で濃縮され、魚の体内では、海水中の濃度の360~600倍になるというものだ。

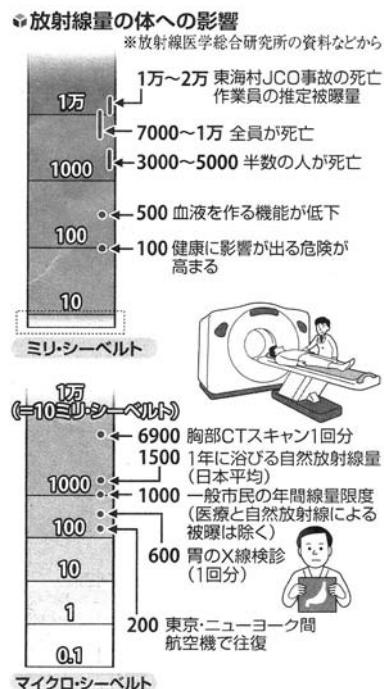
これに対し、放射性物質は魚の体内にはたまりにくい。ヨウ素は放射能が減るのが早く、セシウムやプルトニウムは魚のえらや尿から排出される。水産庁増殖推進部研究指導課の森田貴己さんは「魚の体内で、放射性物質が蓄積される度合いは低い」と話す。

水産総合センターは3月24日に千葉県の銚子沖で捕獲したカタクチイワシから魚肉1キログラムあたり3ベクレル (Bq) の放射性セシウムを検出した。日本近海の海産物の測定を約50年間続けているなか、通常ほとんどセシウムは検出されないことから「福島の事故の影響」とみる。ただし、食品の暫定規制値 (1キログラムあたり500Bq) から見れば、これは極めて低い値だ。森田さんは「今のところ海産物への影響は問題ないが、今後も細かく検査をしていく」と話す。

### 部分的被ばくなら被害少ない

大量の放射線を浴びた場合は、どんな体への影響があるのか?

3,000~5,000mSvの放射線を全身に一度に浴び、何も治療をしないでいると半数が死亡するとされる。ただし、これは「全身に」浴びた場合の話だ。福島原発で被ばくし、放射線医学総合研究所に3月25日に入院した作業員2人は、くるぶしから下に推定2,000~3,000mSvの放射線を受けていたが、「健康への被害は少ない」と診断され、3



日後に退院した。「強い放射線を受けても体の一部に限られていれば、大きな健康被害が出るとは限らない」と東京女子医大放射線腫瘍科教授の三橋紀夫さんは説明する。

例えば乳がんの放射線治療では、乳房に1回2,000mSv相当の放射線を20~30回ほど当てる。放射線が当たった部分の皮膚が日焼けのように一時的に赤くなることがあるが、全身への被ばくとは違い命にかかわることはまずない。胃のエックス線撮影や胸部のCT検査も体の一部にしか放射線を受けず、影響は全身被ばくとは異なる。

### 「水」「食品」規制値 国際基準と整合

放射線を発する物質を放射性物質という。福島、茨城県などのホウレンソウや原乳などから、厚生労働省が定めた暫定規制値を上回る放射性物質の放射性ヨウ素が検出され出荷停止措置がとられている。放射性ヨウ素の暫定規制値は、葉物の野菜で1キログラムあたり2,000Bq、牛乳や飲料水で300Bq。ただし、乳児の飲料水や粉ミルクには100Bqとさらに厳しい制限がついた。

首都圏の浄水場でも一時、100Bqを上回る値が出た。自治体が乳児向けにペットボトルの水を手配するなど混乱が広がった。この規制値は、原子力安全委員会が13年前に作った指標などを基に作られた。指標の策定メンバーだった須賀新一さん（元日本原子力研究所）は「国際的な基準とも整合する値で、現在でも妥当な値だと思う」と話す。放射性ヨウ素は8日で半分に減る。時間と共に、野菜などについた分も減っていくので、国は出荷停止の解除を検討中だ。水道水の放射性物質の値は雨の後に上がりやすい。規制値を下回る時に清潔な容器に入れ、冷蔵庫などで保存しておくと良い。

乳児の水分不足は健康に重大な影響をもたらす。日本小児科学会などは、代わりの飲料水が確保できない時は水分摂取を優先させるよう呼びかけている。

### 微量は宇宙・地面から常に

各地の放射線量の測定結果が毎日公表されている。数値をどう受け取ればよいのだろう。健康に明らかな影響が出始めるとされる年間100mSvの放射線量を、1時間あたりに直すと11.4マイクロシーベルト（ $\mu$ Sv）になる。

福島市では一時、大気中で1時間あたり10  $\mu$ Svを超えたが、次第に低下して数分の1のレベルになっている。関東地方など多くの地域では1  $\mu$ Sv未満で推移している。しかも、屋内にいれば浴びる放射線はさらに減る。

今回のような事故がなくても、私たちは日ごろ、宇宙や地面からの微量の放射線を浴びている。地域により差はあるが、日本では大気中からだけでも、1時間あたり0.08  $\mu$ Sv程度の放射線を浴びている。少量の被ばくを長期にわたって受け続けた場合の影響はよくわかっていない。今後、累積の放射線量が一定以上を超えると、避難区域の拡大につながる可能性もある。推移に注目したい。

### 一般人の被ばくの目安 引き上げ求める声明

今回の事故を受けてICRPは3月21日、日本政府に緊急的に一般人の限度の目安を20~100mSvに引き上げよう求める声明を発表した。

一般人の被ばくの限度は、自然の放射線や治療・検査での被ばくを除き年間で1mSvと定められている。放射線は浴びないに越したことはないため、原子力施設から出る放射線はできるだけ低く抑えるよう、事業者に義務づけられた値だ。ただし、明らかに健康に影響が出る放射線量は100mSvとされている。非常に厳格な基準を維持しようとすると、避難や外出制限などかえって社会的混乱を招きかねないため、明らかに有害でない範囲での引き上げを促すものだ。

また作業員の被ばく限度はもともと100mSvだったが、政府は今回の事故に関して250mSvに変更した。他の危険のある職業と比較して許容範囲にあるという考え方からだ。

### ◆シーベルトとベクレル

「シーベルト」は、人体への放射線の影響の度合いを表す単位。

1シーベルト（Sv）=1,000ミリシーベルト（mSv）、1ミリシーベルト（mSv）=1,000マイクロシーベルト（ $\mu$ Sv）

一方、「ベクレル」は、放射性ヨウ素や放射性セシウムなどの放射性物質が、放射線を出す度合いを表す。食品や水、土壌などに、どのくらい放射性物質が含まれるかを調べる時に用いられる。

（館林牧子、高橋圭史、中島久美子）（4.3読売）

厚生労働省が決めた水や食品の放射性物質の基準	基準値 (1kgあたりの ベクレルの値)	
放射性ヨウ素	飲料水※乳児用は100	300
飲料水	牛乳・乳製品※乳児用粉ミルクなどは100	200
放射性セシウム	野菜類(根菜、イモ類を除く)	500
ウラン	飲料水牛乳・乳製品野菜類穀類肉・卵・魚・その他乳幼児用食品	20
ブルニウム	飲料水牛乳・乳製品野菜類穀類肉・卵・魚・その他乳幼児用食品	100
	飲料水牛乳・乳製品野菜類穀類肉・卵・魚・その他乳幼児用食品	1



# Pipe line

## パイプライン

2011年6月18日（土）・19日（日）

## 第23回腹部超音波初心者講習会

超音波画像研究会 <http://www.us-image.org/> ...

超音波検査を始めようとする方、または始めて間もない方を対象に、医師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師の方に向けた講義と実技の講習会を開催いたします。超音波検査を実施するうえで重要な音響の基礎からプローブワークを学ぶことで理解度・習熟度の向上を目指していただきます。

## 開催要項

日 時：1日目 23年6月18日（土）14時30分～20時30分  
2日目 23年6月19日（日） 9時00分～17時00分  
会 場：中央医療技術専門学校聴覚教室  
東京都葛飾区立石3-5-12（京成立石下車徒歩7分）  
会 費：会員12,000円（夕食、翌日の昼食含む）  
非会員15,000円（入会金、夕食、翌日の昼食含む）  
定 員：25名（定員となり次第受付を終了いたします）  
内 容：1日目 講義 2日目 実習  
申込方法：詳細は、ホームページを参照ください。  
問合わせ：菅 和雄 中央医療技術専門学校  
電話 03-3691-1879 E-mail k\_suga@ccmt.ac.jp  
※連絡は午後4時30分～6時00分の間でお願いいたします。

# イエローケーキ

## 今年のなつやすみ

早いもので東日本大震災が発生してから3ヶ月が経ちます。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、そろそろ夏休みの計画をはじめている方も多いのではないでしょうか。全国の様々な分野で多大な影響が生じていますが、観光に関しても様々な活動の自粛等もあり直接の被害があった地域だけでなく、それ以外の観光地においても旅行者が著しく減少するなど、各地域にとって深刻な状況となっています。

インフラ等の復旧作業や医療活動、ボランティア活動や募金支援活動など被災者への直接的な支援も必要ですが活動が限られており、なかなか参加できない方も多いのではないかと思います。そこで、積極的に観光に出かけることにより、経済を萎縮させずに国の置かれている困難な状況を乗り越え、世界に日本の元気な姿を示していくための間接的な支援も意義があるのではないかでしょうか。

ぜひ今年の夏休みには、国内や海外の各地域を観光することにより「日本の元気」を積極的に発信していき、さらには復興が進むことにより、観光産業は被災から新生した地域を支える大きな柱となります。その時のためにも、日本全体の観光産業をもり立て「観光で日本を元気に」「復興する日本の姿を世界の人々に見ていただく」という気持ちが、被災地への応援につながっていくのではないかでしょうか。

## <Accounting>



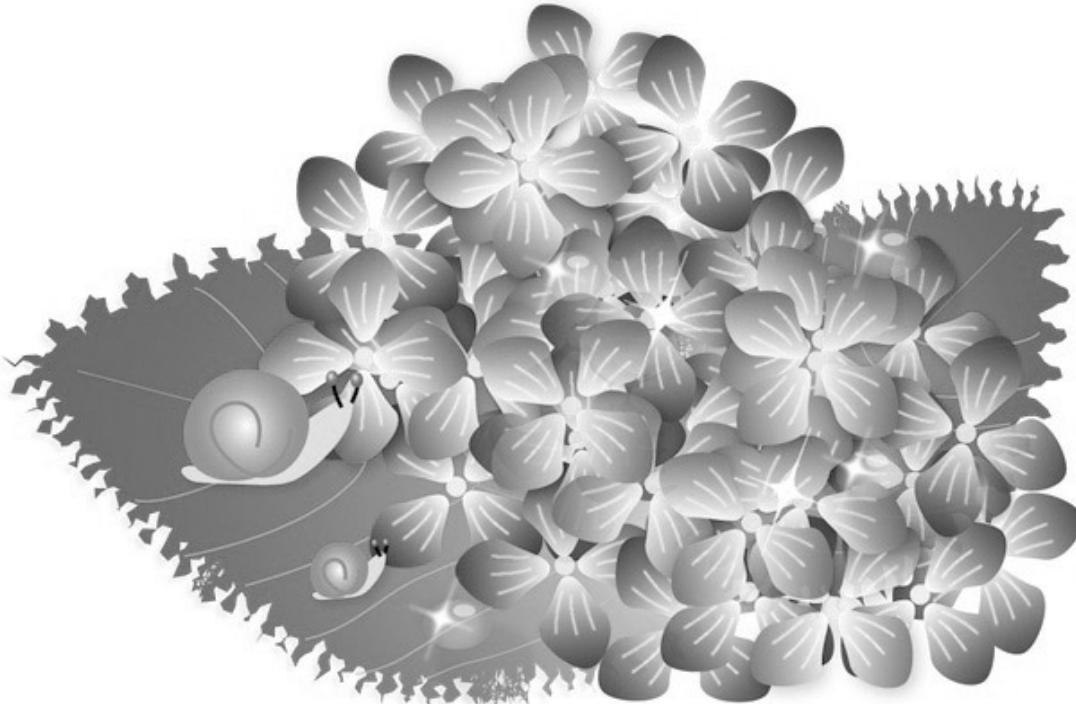
中央医療技術専門学校卒業生の皆さんへ

## 第28回中央医療技術専門学校同窓会総会・中央放射線学会のご案内

日 時：平成23年6月25日（土）14時30分～19時30分  
会 場：中央医療技術専門学校3号館 視聴覚教室  
参 加 費：学会費無料、懇親会費1,000円（今春新卒者無料）  
※同窓生の皆さまの参加をお待ちしております。

### プログラム

1. 同窓会総会 14時30分～15時00分
2. 学術大会 15時00分～17時20分
  - ・同窓会員研究発表
  - ・教育講演
3. 懇親会 17時30分～19時30分  
懇親会会場 葛飾区勤労者福祉会館





**JART**

2011

第27回

**診療放射線技師総合学術大会**

第18回

**東アジア学術交流大会**

大会テーマ

国民と協働し  
医療者と協働しながら  
チーム医療の質を高めよう！



期間 平成23年  
9月16日(金)~18日(日)

会場 青森市文化会館  
ホテル青森

主催:社団法人日本放射線技師会  
共催:社団法人青森県放射線技師会  
後援:厚生労働省、青森県、青森市

平成23年度

# 関東甲信越 診療放射線技師学術大会

「もう一度 一から見直す 安全性と役割」

●日時 平成23年 **10月15日・16日**

●会場 コラニー文化ホール  
(山梨県立県民文化ホール)  
ロイヤルガーデンホテル

主催 (社)日本放射線技師会  
(社)東京都放射線技師会・(社)茨城県放射線技師会・(社)千葉県放射線技師会  
(社)長野県放射線技師会・(社)山梨県放射線技師会・(社)新潟県放射線技師会  
(社)栃木県放射線技師会・(社)群馬県放射線技師会・(社)埼玉県放射線技師会  
(社)神奈川県放射線技師会

実施 (社)山梨県放射線技師会  
大会長 (社)山梨県放射線技師会会长 佐野芳知  
大会事務局 山梨大学医学部附属病院放射線部  
大会事務局URL <http://www.yamanashi-rt.or.jp/> (山梨県放射線技師会URL)

# News

6月号

## 議事

### 1) 平成22年度決算報告案の件

- ・今回の理事会において、期末監査、および総会議案の決算報告（案）の提出ができず審議できませんでした。後日、決算報告（案）をメール配信いたしますのでご審議ください。【全会一致で承認】

### 2) 東日本大震災義援金の件

- ・東京都放射線技師会として義援金を募り、日本放射線技師会を通して被災した東北の技師会を支援する。具体的な方法については今後検討する。【全会一致で承認】

### 3) その他（平成23年度プラチナ会員の件）

- ・平成23年度のプラチナ会員申込者は各地区より19名います。うち18名は承認。尚、1名に関しては継続審議とする。【全会一致で承認】

## 報告・連絡事項

### 1) 専門部報告

#### 総務

- ・新任役員研修会を4月22日（金）の19時00分から行います。
- ・第61回定期総会は、5月28日（土）に 笹川記念会館で行います。
- ・次回の理事会は、5月6日（金）に行います。曜日に注意して下さい。
- ・書面票決が各地区に配布されています。協力宜しくお願いします。

#### 経理

- ・交通費は事前に用意できませんので、今月分は来月に支給になります。拡大理事会のみ参加の方は、2ヶ月遅れの支払いになります。尚、補助金額は400円となります。

#### 編集

- ・東京都放射線技師会誌の5月号は、期末監査のためゴールデンウィーク明けの発送となります。また、7月号は8月号との合併となり、7月半ばに発行いたします。
- ・7・8月合併号掲載の原稿は、5月の専門部理事会までにお願い致します。また、原稿は掲載の2ヶ月前の専門部理事会までが期限となっておりますので準備をお願い致します。
- ・60周年記念誌のPDFファイルを役員に配布しました。

日 時：平成23年4月6日（水）  
午後6時45分～午後8時00分  
場 所：東京都放射線技師会事務所

各地区で配布等の対応をお願いします。

- ・イエローケーキの予定表を作成しました。予定の方は投稿をお願い致します。
- ・会誌へ役員紹介記事の掲載をいたしますので、今月末までに資料の提出をお願いします。

#### 学術

- ・ワンコインセミナーは、きめこまか生涯教育の開催月は行わない予定でいます。
- ・ワンコインセミナーを4月26日と5月19日に行います。どちらも同じ内容で新入会員をメインとしたものとなります。参加費は無料で、参加者はFAXにて連絡して下さい。

#### 広報

- ・看護フェスタを5月15日（日）に新宿西口にて行います。
- ・地区役員のフォーマットを各地区へ配信しますので役員の変更等の報告をお願い致します。
- ・5月の理事会及び総会にて役員名簿を配布します。

### 2) 委員会報告

#### ホームページ委員会

- ・4月より新ホームページが順調に稼働しています。また研修会等の予定がある際は、ホームページの研修会等の掲載フォーマットで報告して下さい。

### 3) 地区質問、意見に関する事項

#### 第12地区

- ・今回の大震災にともない福島に放射線サーバイ派遣隊として参加した市川理事に、体験談を12地区で話して頂く予定ですが、宜しいでしょうか。
- ▷多くの関心ある方に参加して頂いて下さい。また12地区以外でもお話をいただける際は、宜しくお願いします。

### 4) 今後の予定（総務理事）

- 4月13日（水）：第1回五役会
- 4月20日（水）：平成22年度期末監査
- 4月22日（金）：新人役員研修会
- 4月26日（火）：OCセミナー
- 4月28日（木）：第1回専門部理事会
- 5月6日（金）：第2回理事会
- 5月15日（日）：看護フェスタ
- 5月18日（水）：第2回五役会
- 5月23日（月）：資格審査委員会
- 5月26日（木）：第2回専門部理事会
- 5月28日（土）：第61回定期総会

## 平成23年4月期 会員動向

総会員数			正会員						賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編出・入	会員数	新入	転入	転出	退会	編出・入	
22年度集計	1,970	1,768	83	19	16	110	-9・+4	202			5	9	9・-4	
H23.4	1,979	1,778	12	3	1	5	1	201					-1	

4月期 新入会	(12名)	仲野 貴夫	田村クリニック	13地区	再
		伊佐 理嘉	博慈会記念総合病院	6地区	
		米澤 俊和	イムス葛飾ハートセンター	6地区	
		吉田 直貴	牧田総合病院	8地区	
		新倉脩央希	成仁病院	6地区	
		波平 直人	化学療法研究所附属病院	14地区	
		高野 直	順天堂大学医学部附属順天堂医院	5地区	
		寺嶋 元一	東京臨海病院	7地区	
		岡谷 昂亮	慶應義塾大学病院	3地区	
		大畠 韶之	敬愛病院	9地区	
		岡本 淳一	東京医科大学病院	3地区	再
		池田 志綱	東京都済生会中央病院	4地区	
転 入	(3名)	穎原 秀幸	コニカミノルタヘルスケア(株)	5地区	
		大竹 真央	東京都予防医学協会	3地区	
		安藤 章	(株)島津製作所東京支店	1地区	
転 出	(1名)	中村 浩英	東京大学医学部附属病院 → 京都府へ	5地区	
編 入 出	(1名)	滝澤 代輔	東京慈恵会医科大学附属病院	4地区	賛 → 正
退 会	(5名)	村本 紗子	富士フィルム(株)	4地区	
		齊藤 牧子	立川相互ふれあいクリニック	13地区	
		山岸 一雄	久保田病院	9地区	
		生稻 俊夫	三菱重工横浜ビル健康管理室	15地区	
		大平 晃子	立正佼成会附属佼成病院	10地区	

### 学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌にてご案内しますので必ず確認してください。

平成23年度

☆印は新卒新入会員無料招待企画です

#### 1. 学術研修会

第10回サマーセミナー

平成23年8月27日(土)

第10回ウインターセミナー

第14回メディカルマネジメント研修会

#### 2. きめこまかなか生涯教育

第43回きめこまかなか生涯教育

平成23年6月8日(水)～10日(金)

第44回きめこまかなか生涯教育

平成23年10月 3日間

第45回きめこまかなか生涯教育

平成24年2月 3日間

#### ☆ 3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第3回日暮里塾ワンコインセミナー

平成23年7月12日(火)

第4回日暮里塾ワンコインセミナー

平成23年9月27日(火)

第5回日暮里塾ワンコインセミナー

平成23年11月22日(火)

第6回日暮里塾ワンコインセミナー

平成23年12月20日(火)

第7回日暮里塾ワンコインセミナー

平成24年1月24日(火)

#### ☆ 4. 支部研修会

城南支部研修会

平成23年7月14日(木)

城東・城西・城北・多摩支部研修会

地区研修会

#### ☆ 5. 第10回ペイシエントケア学術大会

#### ☆ 6. 第11回東放技東京都会合同学術講演会

平成23年9月8日(木)

#### 関連団体【後援】

第27回日本放射線技師総合学術大会

平成23年9月16日(金)～18日(日)

平成23年度関東甲信越放射線技師学術大会

平成23年10月15日(土)～16日(日)

# Postscript



**生** 来へそ曲がりで本屋の入口に平積みになるような本は買わない事を主義にしていた。しかし今回は違って今更ながらP.F.ドランカーの「マネジメント」を買った。NHKで「もしドラ」のアニメを観たからだった。そして東放技のイノベーション(革新)について考えた。「組織としての東放技」「会員としての自分」「会誌としての東京放射線」この仲間とだったら何かをより良く変えられる。

職場で時どき見かける封も開けずにゴミ箱直行の「東京放射線」・・・悲しい。企業のDMではありません! 読んで欲しい! 見て欲しい! ゴミ箱直行「東京放射線」をゼロにしたい。きっと変えられる。でもここまで読んでくれた方にお願いしても無駄? そんな事を考えている今年度より編集部員になった新人おじさんです。よろしくお願ひ致します。<シバ>

**彼** 女との出会いは入試だった。どちらからともなく話をして、帰りは駅まで一緒に歩いた。今日の試験はちょっと自信がないけど、一緒に合格しているといいね、4月に学校で再会できたらいいね、などと言って別れた。女性が放射線技師を目指すのはまだ珍しく、携帯電話もなかった時代の

ことである。幸い、私たちはこの時の試験で合格し、晴れて同じクラスで勉強することになった。

背の小さい彼女は、手も小さかった。何気なくお互いの手相を見る。彼女は異様に短い生命線を気にしていた。爪で跡をつけて伸ばしちゃえはいいんじゃない? だいたい手相なんてあてにならないよ、と私が言うと、親指の付け根まで太くたくましく伸びる生命線を持つ私の手を見て、一体何歳まで生きるつもりなの? と彼女は笑った。

そして、卒業してから十数年。届いたのは彼女の悲しい知らせだった。信じられないというよりも理解できず、あまりの衝撃に言葉が出なかった。久しぶりに目にした写真の彼女は、おしゃれで愛らしかった学生当時の面影を残しつつ、落ち着いた女性になっていた。

女性の罹患率が増加していく、だいたい20人に1人という説明をすることがある。データは文献の中だけのことではなく現実である。ただ、それを見た当たりにしたときに受け止められる人はそういない。事象ではなく、個人を見ているのだから。

技師業務に今まで以上に責任の重さと、命の重さを感じている。

<chai姉>

## ■ 広告掲載社

東芝メディカルシステムズ(株)  
富士フイルムメディカル(株)  
コニカミノルタヘルスケア(株)  
(株)島津製作所  
医療科学社  
シーメンス・ジャパン(株)  
(株)日立メディコ  
GEヘルスケア・ジャパン(株)

## 東京放射線 第58巻 第6号

平成23年5月25日 印刷(毎月1回1日発行)

平成23年6月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 社団法人 東京都放射線技師会

発行人 社団法人 東京都放射線技師会

会長 篠原健一  
編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京(03)3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月~水 9:30~17:00 木・金 13:30~17:00

案内 ただし土曜・日曜・休日・祭日および12月29日~1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京(03)3806-7724

## 編集スタッフ

浅沼雅康  
内藤哲也  
岩井譜憲  
森美加  
中谷麗  
浅野幸  
柴山豊喜  
平田充弘

平成 年 月 日

## 登録事項変更届

社団法人 東京都放射線技師会会长殿

下記のとおりお届けします。

日放技会員番号	所属地区	第 地区
	フリガナ	
現在の送付先 (勤務先 自宅) • 新希望送付先 (勤務先 自宅)	氏 名	
	旧 姓 名	

自宅住所	〒	—
		-----
	自宅電話番号	— — —
旧住所		

勤務先	名称	
	部課	
所在地	〒	—
		-----
	勤務先電話番号	— — —
旧勤務先		

本用紙使用目的	・改姓・送付先変更・自宅住所変更・勤務先変更・その他（下記へ）
本会への通信欄	